

平成 29 年度

事業報告書

社会福祉法人

大友恵愛会

特別養護老人ホーム

大友恵愛園

目 次

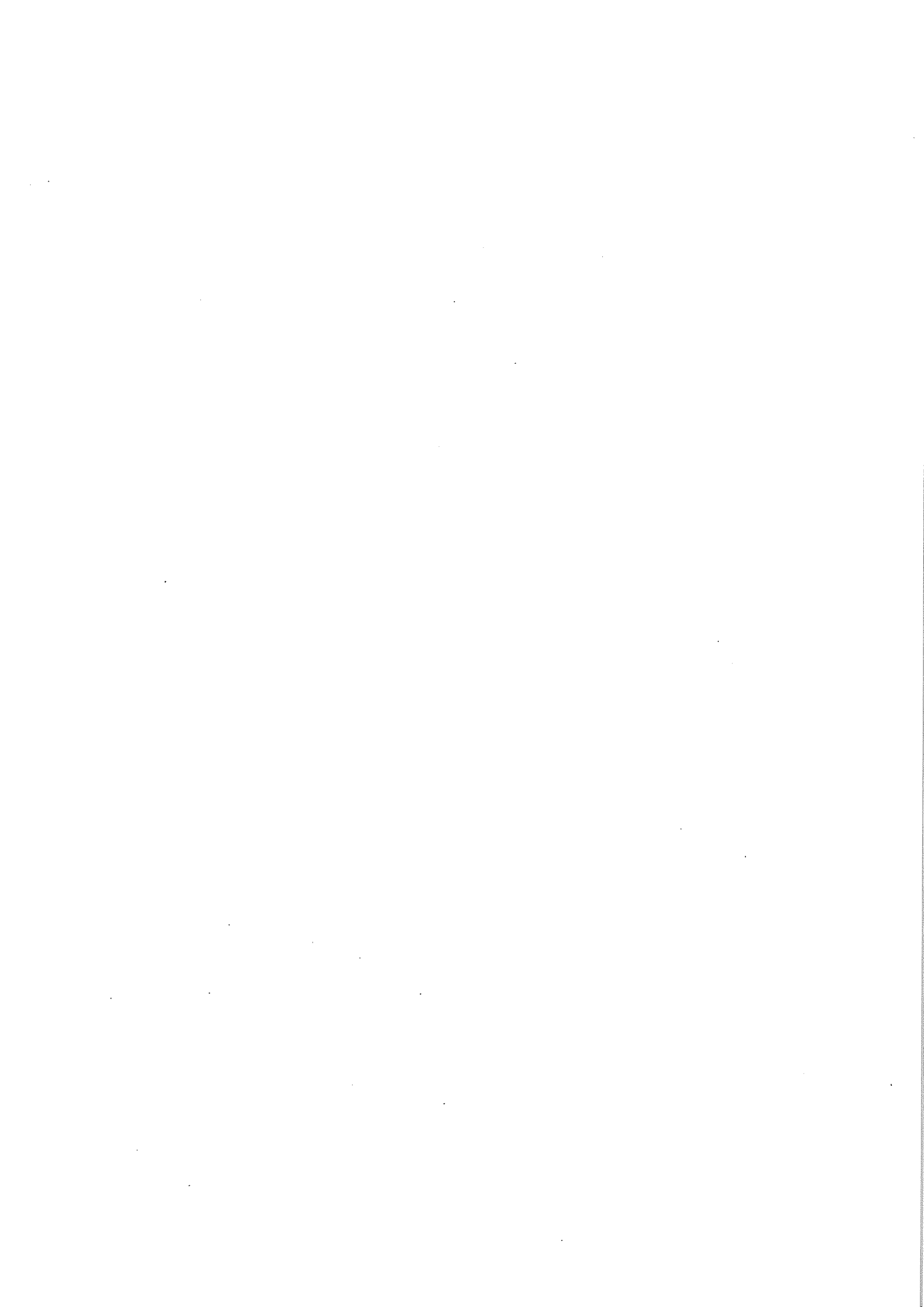
まえがき

特養事業報告

1. 入居者の状況	7
2. 医療状況	20
3. 機能訓練	22
4. 給食状況	24
5. 年間行事反省	26
6. 各種会議・委員会	30
7. ボランティア活動状況	34
8. 実習受け入れ状況	37
9. ホール貸出状況	37

居宅事業報告

1. 介護予防センター	41
2. 居宅介護支援事業所	46
3. ショートステイ	47
4. デイサービス	49



平成 29 年 度

特 養 事 業 報 告

1. 入居者の状況 (平成30年3月31日現在)

定員 200名

在籍人員数 192名

内訳	入居者数	189名	(男性	42名	女性	147名)
	多床室	129名	(男性	32名	女性	97名)
	ユニット	60名	(男性	10名	女性	50名)
	入院者数	1名	(男性	0名	女性	1名)
	多床室	1名	(男性	0名	女性	1名)
	ユニット	0名	(男性	0名	女性	0名)
	契約入院者数	2名	(男性	1名	女性	1名)
	多床室	2名	(男性	1名	女性	1名)
	ユニット	0名	(男性	0名	女性	0名)

※ 「契約入院者」とは入院8日目以降の入院者を言う。

保険者別入居状況

多床室

区分	札幌市									
	東	北	南	西	中央	厚別	清田	白石	手稲	小計
男	27	4	0	0	0	0	0	0	0	31
女	78	9	1	1	0	1	1	1	2	94
計	105	13	1	1	0	1	1	1	2	125

区分	札幌市以外 (市町村)					合計
	名寄	蘭越	芦別	函館	小計	
男	1	0	0	0	1	32
女	0	1	1	1	3	97
計	0	1	1	1	4	129

ユニット

区分	札幌市				小計
	東	北	南	中央	
男	10	0	0	0	10
女	43	3	1	1	48
計	53	3	1	1	58

区分	札幌市以外 (市町村)			合計
	函館	江差	小計	
男	0	0	0	10
女	1	1	2	50
計	1	1	2	60

利用状況
平成27年度

(年度平均入居者 多床室128.1人 ユニット62.7人 全体190.7人)

多床室		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月初日入居者数		125	127	125	124	125	127	130	127	129	130	128	132	1,529
月平均入居者数		125.2	128.2	125.3	124.3	125.4	129.3	129.7	128.0	129.5	130.4	130.6	131.9	128.1
入居	新規入居	3	2	4	6	5	2	3	3	3	2	3	1	37
	再入居	4	2	0	2	6	6	4	7	2	1	7	2	43
退居		1	4	6	3	3	3	3	3	3	2	1	1	33
月初	入院	3	1	1	2	0	2	2	3	1	0	2	1	18
	契約入院	4	6	6	4	8	6	2	4	4	2	4	3	53
入院者延人数		60	22	27	60	75	34	62	56	20	48	59	26	549
契約入院者延人数		161	205	165	219	208	150	108	149	107	77	78	97	1,724
外泊延日数		0	5	0	4	6	1	1	0	5	4	0	0	26

ユニット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月初日入居者数		62	63	61	63	62	63	63	62	63	62	63	63	750
月平均入居者数		62.8	61.7	61.6	63.6	62.7	62.9	62.4	62.8	62.2	62.6	63.7	63	62.7
入居	新規入居	2	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	6
	再入居	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4
退居		1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	4
月初	入院	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	4
	契約入院	0	0	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	6
入院者延人数		2	14	0	3	22	7	0	4	1	0	6	7	66
契約入院者延人数		0	20	41	8	26	25	31	26	0	0	0	25	202
外泊延日数		7	6	1	1	11	4	6	4	4	1	0	1	46

平成28年度

(年度平均入居者 多床室126.5人 ユニット61人 全体187.5人)

多床室		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月初日入居者数		131	127	134	132	132	122	125	127	126	122	120	123	1,521
月平均入居者数		129.4	131.9	134.5	131.9	127.4	123.4	124.3	125.5	123.3	120.7	120	125.9	126.5
入居	新規入居	1	4	3	0	3	2	4	2	2	1	4	6	32
	再入居	4	2	0	2	4	8	3	3	5	2	5	2	40
退居		3	3	2	0	5	4	4	4	1	8	1	2	37
月初	入院	2	1	0	3	0	5	1	1	0	2	0	1	16
	契約入院	3	5	1	1	4	8	6	5	5	7	5	5	55
入院者延人数		56	0	16	26	72	57	47	49	55	36	44	39	497
契約入院者延人数		132	74	11	85	138	216	184	160	225	211	119	139	1,694
外泊延日数		2	3	1	0	5	1	0	3	3	0	0	1	19

ユニット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月初日入居者数		62	64	61	60	61	60	62	61	61	61	61	62	736
月平均入居者数		62.7	63	60	59.5	60.1	59.8	61.8	60.1	60.7	60.6	62.3	62.2	61
入居	新規入居	0	0	0	2	0	1	2	2	1	1	2	2	13
	再入居	2	1	3	1	1	3	1	0	1	0	0	1	14
退居		0	0	1	1	2	1	2	1	2	0	1	1	12
月初	入院	1	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	5
	契約入院	1	0	1	3	3	1	2	0	1	0	1	0	13
入院者延人数		6	18	33	13	9	23	6	14	7	7	0	12	148
契約入院者延人数		32	15	86	67	59	30	29	30	15	22	2	2	389
外泊延日数		0	4	0	2	7	1	0	4	1	0	0	1	20

平成 29 年度

(年度平均入居者 多床室 126.4 人 ユニット 60.6 人 全体 187.0 人)

多床室		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月初日入居者数		126	128	131	130	127	125	121	120	124	123	126	129	1,510
月平均入居者数		127	131	130.4	130	126.7	122.1	120.5	122.6	124.1	125	128.1	129.9	126.4
入居	新規入居	3	4	1	2	2	3	1	5	3	4	3	3	34
	再入居	5	2	1	2	2	2	5	5	1	2	4	2	33
退 居		4	1	3	2	1	7	4	4	3	0	2	3	34
月初	入 院	2	1	2	1	5	4	0	1	0	0	0	2	18
	契約入院	5	2	2	2	1	6	9	6	3	3	5	1	45
入院者延人数		31	23	30	44	56	59	40	33	27	22	42	39	446
契約入院者延人数		93	45	80	80	153	262	219	137	68	76	170	86	1,469
外泊延日数		0	0	1	0	3	0	1	0	4	4	0	0	13

ユニット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月初日入居者数		62	61	64	62	62	60	60	61	62	59	58	55	726
月平均入居者数		61.8	61.6	62.2	62.7	60.9	60.1	60.7	61.4	61.3	59.4	57	58.3	60.6
入居	新規入居	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0	3	9
	再入居	1	1	2	1	1	1	3	1	0	1	3	2	17
退 居		1	0	1	0	0	1	1	1	2	2	2	2	13
月初	入 院	1	1	0	0	2	2	1	1	1	0	2	2	13
	契約入院	1	0	0	1	0	2	3	1	1	2	2	2	15
入院者延人数		2	5	27	7	30	16	17	6	12	22	56	12	212
契約入院者延人数		26	4	22	6	57	73	51	39	51	83	14	52	478
外泊延日数		0	7	6	6	13	3	12	4	5	4	5	0	65

各月初日現在要介護度別入居者数及び平均要介護度 (年度平均要介護度 多床室 3.59 ユニット 3.34 全体 3.51)

	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計		平均要介護度	
	多床室	ユニット	多床室	ユニット	多床室	ユニット	多床室	ユニット	多床室	ユニット	多床室	ユニット	多床室	ユニット
4月	6	9	11	10	45	13	40	12	24	18	126	62	3.53	3.27
5月	5	10	12	9	44	13	39	11	28	18	128	61	3.58	3.33
6月	6	10	12	9	42	14	43	11	28	20	131	64	3.60	3.34
7月	6	11	11	8	44	13	41	12	28	18	130	62	3.56	3.30
8月	6	11	11	8	43	13	41	12	26	18	127	62	3.55	3.33
9月	6	11	11	8	41	12	41	11	26	18	125	60	3.59	3.28
10月	5	11	11	9	41	12	40	10	24	18	121	60	3.57	3.33
11月	5	11	11	8	40	12	39	11	25	19	120	61	3.63	3.32
12月	4	12	11	8	40	12	43	11	26	19	124	62	3.63	3.32
1月	4	11	11	8	38	11	42	11	28	18	123	59	3.66	3.34
2月	3	10	11	8	38	10	45	13	29	17	126	58	3.7	3.43
3月	3	8	11	8	37	10	48	12	30	17	129	55	3.72	3.49
平均	4.9	10.4	11.1	8.5	41.4	12.1	41.6	11.5	26.8	18.2	126.1	60.5	3.59	3.34

要介護度と認知症老人日常生活自立度

多床室	正常	ランク I	ランク II a	ランク II b	ランク III a	ランク III b	ランク IV	ランク M	合計
要介護1	0	0	0	2	2	0	0	0	4
要介護2	0	2	0	6	3	0	0	0	11
要介護3	0	1	1	13	16	3	2	0	36
要介護4	1	1	4	12	20	3	6	1	48
要介護5	0	0	0	2	11	2	15	0	30
合計	1	4	5	35	52	8	23	1	129

ユニット	正常	ランク I	ランク II a	ランク II b	ランク III a	ランク III b	ランク IV	ランク M	合計
要介護1	0	1	3	1	2	0	1	0	8
要介護2	0	0	0	4	3	2	0	0	9
要介護3	0	0	2	4	5	0	1	0	12
要介護4	1	0	1	3	6	3	0	0	14
要介護5	0	1	0	1	5	0	10	0	17
合計	1	2	6	13	21	5	12	0	60

認知症老人の日常生活自立度判定基準

ランク I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にはほぼ自立している。
ランク II	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。 a. 家庭外で上記の状態が見られる。 b. 家庭内でも上記の状態が見られる。
ランク III	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さがみられ、介護を必要とする。 a. 日中を中心として上記の状態が見られる。 b. 夜間を中心として上記の状態が見られる。
ランク IV	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
ランク M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

要介護度と障害老人の日常生活自立度

多床室	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
要介護1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4
要介護2	0	0	0	1	3	6	1	0	0	11
要介護3	0	0	3	5	7	7	14	0	0	36
要介護4	0	0	0	3	7	14	20	2	2	48
要介護5	0	1	0	0	3	1	13	5	7	30
合計	0	1	3	10	22	29	48	7	9	129

ユニット	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
要介護1	0	0	1	2	4	1	0	0	0	8
要介護2	0	1	2	0	1	5	0	0	0	9
要介護3	0	0	1	1	1	5	4	0	0	12
要介護4	0	1	0	1	0	2	8	2	0	14
要介護5	0	0	1	0	1	2	5	2	6	17
合計	0	2	5	4	7	15	17	4	6	60

障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準

生活自立	ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており、独力で外出する。 1. 交通機関等を利用して外出する。 2. 隣近所へなら外出する。
準寝たきり	ランク A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。 1. 介助により、外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し日中もベッドでの生活が主体であるが、座位を保つ。 1. 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。 2. 介助により車椅子に移乗する。
	ランク C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する。 1. 自力で寝返りをうつ。 2. 自力では寝返りもうたない。

認知症に伴う周辺症状

	幻視幻聴	妄想	昼夜逆転	暴言	暴力	介護拒否	徘徊	不潔行為	異食行動	性的逸脱行動	合計
2F	2	8	1	2	2	10	4	6	2	0	37
3F	0	5	2	5	3	4	2	7	2	0	30
4F	6	5	2	4	4	6	3	4	3	0	37
5F	5	3	2	0	0	0	2	0	0	0	12
6F	3	4	2	3	2	4	2	2	0	1	23
計	16	25	9	14	11	24	13	19	7	1	139

※要介護度判定時の「主治医意見書記入の手引き」にある基準に準拠。

※同一者で複数の症状がある利用者もいるため、実人数との差が生じる。

年々、何らかの周辺症状の現れている利用者が増加傾向にあり、また、近年は、認知症による症状だけではなく精神疾患の既往歴があり加齢や認知症によってその症状が現れてくる利用者の増加が目立ってきている。

年齢構成

(平均年齢 男性 83.4歳 女性 89.1歳 全体 87.8歳)

多床室	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80 ～ 84 歳	85 ～ 89 歳	90 ～ 94 歳	95 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	最低 年齢	最高 年齢	平均 年齢
男	0	2	5	5	8	9	3	0	0	32	69	94	80.6
女	0	0	3	8	16	23	25	18	4	97	70	104	89.0
計	0	2	8	13	24	32	28	18	4	129	69	104	86.9

ユニット	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80 ～ 84 歳	85 ～ 89 歳	90 ～ 94 歳	95 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	最低 年齢	最高 年齢	平均 年齢
男	0	1	0	2	0	2	5	0	0	10	68	94	86.1
女	0	0	0	2	8	15	17	8	0	50	75	99	89.1
計	0	1	0	4	8	17	22	8	0	60	68	99	88.6

在園期間

(平均在園期間 多床室4.3年 ユニット4.5年 全体 4.4年)

多床室	1年未満	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5～7年	7～10年	10～15年	15～20年	20～25年	25～30年	30年以上	合計	平均(年)
男	10	3	6	2	1	3	2	5	0	0	0	0	32	3.7
女	21	13	14	10	9	10	9	9	1	0	1	0	97	4.8
計	31	16	20	12	10	13	11	14	1	0	1	0	129	4.3

ユニット	1年未満	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5～7年	7～10年	10～15年	15～20年	20～25年	25～30年	30年以上	合計	平均(年)
男	3	1	1	0	1	3	1	0	0	0	0	0	10	4.1
女	6	8	2	8	6	18	1	1	0	0	0	0	50	4.8
計	9	9	3	8	7	21	2	1	0	0	0	0	60	4.5

利用者ADL状況

	身体状況	男	女	計	2F			3F			4F			5F			6F		
					男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
食事	全介助	8	30	38	2	7	9	1	9	10	3	7	10	0	2	2	2	5	7
	一部介助	12	29	41	5	6	11	0	7	7	7	5	12	0	5	5	0	6	6
	見守り	17	63	80	6	15	21	7	18	25	1	11	12	0	10	10	3	9	12
	自立	5	25	30	0	5	5	0	2	2	0	5	5	3	8	11	2	5	7
移動	自立歩行	5	18	23	1	5	6	0	2	2	2	1	3	1	6	7	1	4	5
	車椅子(自立)	3	23	26	0	3	3	2	10	12	0	3	3	1	4	5	0	3	3
	車椅子(移乗介助)	18	38	56	7	8	15	3	10	13	4	12	16	1	2	3	3	6	9
	車椅子(全介助)	14	51	65	4	12	16	3	11	14	5	11	16	0	9	9	2	8	10
	杖	1	5	6	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	2	2	0	1	1
	歩行器	1	12	13	0	5	5	0	2	2	0	0	0	0	2	2	1	3	4
入浴	歩行浴	11	57	68	2	13	15	1	17	18	3	9	12	2	11	13	3	7	10
	機械浴	22	57	79	7	12	19	6	10	16	6	14	20	1	8	9	2	13	15
	特浴	9	33	42	4	8	12	1	9	10	2	5	7	0	6	6	2	5	7
口腔清潔	全介助	11	49	60	4	13	17	1	14	15	3	9	12	0	4	4	3	9	12
	一部介助	14	38	52	4	7	11	2	14	16	6	7	13	1	5	6	1	5	6
	見守り(指示)	15	32	47	5	9	14	4	3	7	2	9	11	1	5	6	3	6	9
	自立	2	28	30	0	4	4	1	5	6	0	3	3	1	11	12	0	5	5
更衣	全介助	15	56	71	5	12	17	2	15	17	6	12	18	0	6	6	2	11	13
	一部介助	19	55	74	7	12	19	4	18	22	5	9	14	0	10	10	3	6	9
	見守り(指示)	6	13	19	1	4	5	2	0	2	0	3	3	2	2	4	1	4	5
	自立	2	23	25	0	5	5	0	3	3	0	4	4	1	7	8	1	4	5

排泄状況

(多床室)

		日 中					計
		おむつ	尿 器	ポータブル トイレ	トイレ (誘導)	トイレ (自立)	
夜 間	おむつ	49	0	2	29	4	84
	尿器	0	0	0	0	0	0
	ポータブルトイレ	0	0	0	5	4	9
	トイレ(誘導)	0	0	0	20	0	20
	トイレ(自立)	0	0	0	0	14	14
計		49	0	2	54	22	127

その他 カテーテル使用者 2名 ストマー使用者 0名

(ユニット)

		日 中					計
		おむつ	尿 器	ポータブル トイレ	トイレ (誘導)	トイレ (自立)	
夜 間	おむつ	15	0	0	8	0	23
	尿器	0	0	0	1	0	1
	ポータブルトイレ	0	0	0	0	0	0
	トイレ(誘導)	0	0	0	18	1	19
	トイレ(自立)	0	0	0	0	17	17
計		15	0	0	27	18	60

その他 カテーテル使用者 0名 ストマー使用者 0名

新規入居の状況

1) 各月入居状況

多床室		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	新規	2	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	2	11
	再入居	2	1	0	1	0	1	3	1	1	0	2	1	13
	計	4	1	0	2	1	2	4	2	2	1	2	3	24
女	新規	1	4	1	1	1	2	0	4	2	3	3	1	23
	再入居	3	1	1	1	2	1	2	4	0	2	2	1	20
	計	4	5	2	2	3	3	2	8	2	5	5	2	43
計	新規	3	4	1	2	2	3	1	5	3	4	3	3	34
	再入居	5	2	1	2	2	2	5	5	1	2	4	2	33
	計	8	6	2	4	4	5	6	10	4	6	7	5	67

ユニット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	新規	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	再入居	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
	計	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1	6
女	新規	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	2	6
	再入居	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	3	2	14
	計	1	1	1	2	1	2	1	2	1	1	3	4	20
計	新規	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0	3	9
	再入居	1	1	2	1	1	1	3	1	0	1	3	2	17
	計	1	2	3	2	1	2	3	2	1	1	3	5	26

2) 年齢構成(新規入居者)

多床室	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	計	平均
男	0	0	1	3	2	2	3	0	0	0	11	78.7
女	0	0	0	1	2	5	3	4	8	0	23	88.8
計	0	0	1	4	4	7	6	4	8	0	34	85.5

ユニット	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	計	平均
男	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	3	86.7
女	0	0	0	0	0	2	3	1	0	0	6	85.7
計	0	0	0	0	1	2	3	3	0	0	9	86

3) 入居前の居所

		平成27年度								平成28年度								平成29年度							
		多床室				ユニット				多床室				ユニット				多床室				ユニット			
		男	女	小計	計	男	女	小計	計	男	女	小計	計	男	女	小計	計	男	女	小計	計	男	女	小計	計
病院	新規	1	5	6	46	1	0	1	7	3	4	7	47	1	4	5	19	3	4	7	40	0	1	1	18
	再入居	8	32	40		0	6	6		9	31	40		1	13	14		13	20	33		4	13	17	
老人保健施設	新規	10	9	19	19	0	1	1	1	4	7	11	11	0	3	3	3	7	16	23	23	0	3	3	3
	再入居	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0	
自宅	新規	3	2	5	5	1	1	2	2	1	6	7	7	1	2	3	3	0	1	1	1	2	0	2	2
	再入居	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0	
他施設	新規	2	5	7	7	0	2	2	2	3	4	7	7	0	2	2	2	1	2	3	3	1	2	3	3
	再入居	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0	
合計	新規	6	21	27	67	2	4	6	12	11	21	32	72	2	11	13	27	11	23	34	67	3	6	9	26
	再入居	8	32	40		0	6	6		9	31	40		1	13	14		13	20	33		4	13	17	

※入退院日を含めて8日間を超える入院後の再入居は、退院ではなく「再入居」として計算している。

退所者の状況

1) 各月退居状況

多床室	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	0	0	2	0	1	4	0	1	0	0	1	1	10
女	4	1	1	2	0	3	4	3	3	0	1	2	24
計	4	1	3	2	1	7	4	4	3	0	2	3	34

ユニット	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
女	1	0	0	0	0	1	1	0	1	2	2	2	10
計	1	0	1	0	0	1	1	1	2	2	2	2	13

2) 退居時の年齢構成

多床室	60歳未満	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100歳以上	計	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男	0	0	0	1	2	0	5	2	0	0	10	74	91	84.8
女	0	0	1	0	3	0	6	7	6	1	24	68	102	89.1
計	0	0	1	1	6	5	10	9	6	1	34	68	102	87.8

ユニット	60歳未満	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100歳以上	計	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	3	79	100	89
女	0	0	0	1	0	1	2	2	3	1	10	72	103	90.2
計	0	0	0	1	1	1	3	2	3	2	13	72	103	89.9

3) 退居理由

	平成27年度						平成28年度						平成29年度					
	多床室			ユニット			多床室			ユニット			多床室			ユニット		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
長期入院	9	9	18	0	1	1	12	16	28	1	5	6	4	9	13	2	6	8
死亡	4	10	14	2	1	3	1	7	8	0	6	6	5	14	19	1	3	4
希望退居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他施設へ	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	1
在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	13	20	33	2	2	4	13	24	37	1	11	12	10	24	34	3	10	13

4) 退居時疾病状況 (在宅復帰者を除く)

多床室	死亡							長期入院						合計
	心不全	肺炎	脳出血	呼吸不全	悪性腫瘍	その他	小計	骨折	経管栄養 胃瘻造設	肺炎	悪性腫瘍	その他	小計	
男	1	2	1	0	0	1	5	0	4	0	0	0	4	9
女	5	5	0	0	1	3	14	0	8	0	0	1	9	23
計	6	7	1	0	1	4	19	0	12	0	0	1	13	32

ユニット	死亡							長期入院						合計
	心不全	肺炎	脳出血	呼吸不全	悪性腫瘍	その他	小計	骨折	経管栄養 胃瘻造設	肺炎	悪性腫瘍	その他	小計	
男	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	2	3
女	1	0	0	0	0	2	3	0	6	0	0	0	6	9
計	1	0	0	0	0	3	4	0	8	0	0	0	8	12

利用料負担状況（月額 30日）

（平成30年3月31日現在）

居室種別	要介護度	利用者負担段階	介護サービス費 (2割負担)	食費	居住費	社福減免	人数
多床室	要介護1	1	0	0	0		0
		2	15,000	11,700	11,100	有 無	0 0
		3	20,623	19,500	11,100	有 無	3 1
		4	20,623	41,400	25,200		0
	要介護2	1	0	0	0		2
		2	15,000	11,700	11,100	有 無	3 2
		3	22,830	19,500	11,100	有 無	1 2
		4	22,830	41,400	25,200		0
	要介護3	1	0	0	0		2
		2	15,000	11,700	11,100	有 無	4【1】 5【1】
		3	24,600	19,500	11,100	有 無	3 7
		4	25,071 (44,400)	41,400	25,200		8 4
	要介護4	1	0	0	0		5
		境界層	15,000	9,000	0	無	1
		2	15,000	11,700	11,100	有 無	8 6
		3	24,600	19,500	11,100	有 無	3 14
		4	27,278 (44,400)	41,400	25,200		5 (3)
			《81,836》				《1》
	要介護5	1	0	0	0		4
		境界層	15,000	11,700	0	有	1
		2	15,000	11,700	11,100	有 無	3 1
						有 無	8 9
		4	29,419 (44,400)	41,400	25,200		7 (1)
							計

利用料負担状況（月額 30日）

（平成30年3月31日現在）

居室種別	要介護度	利用者負担段階	介護サービス費 (2割負担)	食費	居住費	社福減免	人数
ユニット	要介護1	1	/	/	/	/	/
		2	15,000	11,700	24,600	有 無	0 1
		3	23,687	19,500	39,300	有 無	1 4
		4	23,687	41,400	59,100	/	2
	要介護2	1	/	/	/	/	/
		2	15,000	11,700	24,600	有 無	1 0
		3	24,600	19,500	39,300	有 無	1 4
		4	25,861	41,400	59,100	/	1
	要介護3	1	/	/	/	/	/
		2	15,000	11,700	24,600	有 無	0 0
		3	24,600	19,500	39,300	有 無	0 11
		4	28,200 (44,400)	41,400	59,100	/	1 (1)
	要介護4	1	/	/	/	/	/
		2	15,000	11,700	24,600	有 無	0 1
		3	24,600	19,500	39,300	有 無	5 5
		4	30,375 (44,400)	41,400	59,100	/	3 (2)
	要介護5	1	/	/	/	/	/
		2	15,000	11,700	24,600	有 無	1 3
		3	24,600	19,500	39,300	有 無	2 6
		4	32,549 (44,400)	41,400	59,100	/	4 (2)
計							60

※介護サービス費の金額は高額介護サービスは適用されているものとし、上限額は負担段階に応じて15,000円、24,600円、44,400円となっている。（3割負担者は高額介護サービス適用無し）

※社会福祉法人減額対象者で負担段階が第2段階の方は、「食費」「居住費」が25%減額、第3段階の方は「食費」「居住費」「介護サービス費」が25%減額される。

※介護サービス費の中には、栄養ケアマネ加算、個別機能訓練加算、看護体制加算Ⅰ・Ⅱ、日常生活支援体制加算Ⅰ・Ⅱ、夜勤職員配置加算Ⅰ・Ⅱが含まれている。

※（ ）は2割負担者

※《 》は3割負担者

※【 】は旧措置者内訳

2. 医療状況

月別投薬・通院及び入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通院人数	83	82	80	73	85	87	76	88	75	56	68	73	926
園内投薬	865	707	1006	909	693	856	926	734	952	819	719	740	9926
他科投薬	76	64	73	67	80	62	64	69	62	47	63	65	792
入院人数	6	4	7	9	9	8	8	6	5	8	10	5	85
退園人数	5	1	4	2	1	8	5	5	5	2	4	5	47

入院者理由内訳

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
内科的	1	2	1	2	3	2	3	3	2	3	3	4		2	2	3	1	3	2	4	1	7			54
外科的																									
脳外科的	1	1						1	1	1		1	1	1		1							1	1	11
精神科的								1																	1
骨折		1				1			1														1		4
泌尿器科																									
その他				1		1		1		1			2	2			1		2	1	1	1	1	1	15
計		6		4		7		9		9		8		8		6		5		8		10		5	85

通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	27	21	25	25	22	25	23	31	19	22	28	15	283
外科	1	2	6	4	3	1	4	3	3	3	3		33
脳神経外科	8	4	11	6	3	8	8	4	6	1	5	5	69
整形外科	26	24	16	11	17	9	6	11	5	7	5	16	153
泌尿器科	2	7			2	7	1	3	1	2	6	3	34
精神・神経科	14	13	13	13	20	12	15	15	13	11	16	16	171
皮膚科	6	5	6	3	8	5	2	4	5	2	1	6	53
耳鼻科				1		1	1						3
眼科	5	8	8	6	4	13	10	11	10	2	5	7	89
歯科	43	67	48	53	56	48	43	55	47	50	52	54	616
循環器科	3	8	6	2	3	6	2	5	11	8	9	5	68
胸部X線検査											182		182
予防注射(利)								134					134

※歯科は往診も含まれている。

疾患罹患状況

	計	割合 (%)
循環器	234	16.4
脳血管	187	13.1
呼吸器	47	3.3
整形外科	130	9.0
眼科	38	2.7
皮膚科	280	19.6
消化器科	173	12.1
耳鼻科	6	0.4
腎・泌尿器科	27	1.8
その他	309	21.6
延人員	1431	100
実人員	168	

診察室検査状況(特養)

	採血	血糖	E C G	点滴
4月	33	5	42	2
5月	50	4	50	3
6月	50	7	45	7
7月	33	6	33	2
8月	50	4	47	4
9月	37	7	22	9
10月	28	6	38	4
11月	47	4	47	3
12月	43	7	34	2
1月	32	5	39	2
2月	50	4	44	3
3月	39	8	27	2
計	492	67	468	43

各疾患別内訳

①循環器疾患

	人数	割合 (%)
高血圧症	116	49.6
狭心症	28	11.9
閉塞性動脈硬化症	14	6.0
うっ血性心疾患	44	18.8
その他	32	13.7

②脳血管疾患

	人数	割合 (%)
脳血管障害	161	86.1
症候性てんかん	12	6.4
その他	14	7.5

③呼吸器疾患

	人数	割合 (%)
急性上気道炎	29	61.7
慢性気管支炎	8	17.0
気管支喘息	7	14.9
その他	3	6.4

④整形外科疾患

	人数	割合 (%)
腰痛症	40	30.8
骨粗鬆症	20	15.3
変形性関節症	34	18.5
その他	46	35.4

⑤眼科疾患

	人数	割合 (%)
白内障	13	34.2
慢性結膜炎	7	18.4
その他	18	47.4

⑥皮膚科疾患

	人数	割合 (%)
湿疹	79	28.2
白癬症	52	18.6
その他	149	53.2

⑦消化器科疾患

	人数	割合 (%)
胃・十二指腸潰瘍	53	30.6
慢性胃腸炎	62	35.8
逆流性食道炎	35	20.3
その他	23	13.3

⑧耳鼻科疾患

	人数	割合 (%)
アレルギー性鼻炎	4	66.7
その他	2	33.3

⑨腎・泌尿器科疾患

	人数	割合 (%)
前立腺肥大症	6	22.2
神経因性膀胱	13	48.2
その他	8	29.6

⑩その他

	人数	割合 (%)
糖尿病	20	6.5
不眠症	42	13.5
パーキンソン病	15	4.9
便秘症	107	34.6
その他	125	40.5

体力低下や状態が急変し死亡に至るケースなど、退園者数は昨年同様で、利用者の重度化は顕著に見られている。そのため、嘱託医による病状面談などの機会を随時設定し、利用者の現況及び今後の展開（療養型の検討など）を説明していただきご家族の理解を得るように努めてきた。今後も、利用者一人一人の状況に合わせたケア・サービス提供がスムーズに行える様に他部門との連携を図っていきたい。

終末期ケアについては、施設部会を中心に、当園での対応をどの様に行っていくのかを次年度以降の検討課題としたい。

3. 機能訓練

レクリエーションリハビリ実施回数及び参加人数

	多床		2F			3F			4F			ユニット			総計	平均参加延人数
	ユニット		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
4月	12回	参加実人数	9	24	33	8	24	32	7	19	26	3	30	33	124	25
	4回	参加延人数	17	75	92	30	83	113	27	68	95	8	54	62	362	16
5月	9回	参加実人数	5	17	22	7	17	24	7	17	24	5	28	33	103	23
	5回	参加延人数	7	60	67	19	59	78	16	49	65	13	58	71	281	14
6月	8回	参加実人数	13	32	45	8	35	43	10	27	37	9	48	57	182	58
	6回	参加延人数	40	126	166	49	133	182	27	88	115	26	138	164	627	27
7月	8回	参加実人数	12	32	44	6	30	36	9	25	34	7	51	58	172	45
	6回	参加延人数	23	104	127	30	108	138	24	70	94	19	126	145	504	24
8月	8回	参加実人数	10	28	38	8	22	30	8	18	26	5	36	41	135	42
	6回	参加延人数	28	101	129	34	83	117	14	75	89	11	97	108	443	18
9月	8回	参加実人数	13	28	41	7	32	39	9	23	32	8	48	56	168	39
	5回	参加延人数	24	83	107	25	98	123	21	62	83	18	101	119	432	24
10月	8回	参加実人数	6	22	28	6	23	29	6	20	26	8	32	40	123	34
	5回	参加延人数	16	83	99	17	81	98	12	63	75	17	82	99	371	20
11月	8回	参加実人数	6	22	28	6	26	32	7	20	27	5	24	29	116	36
	5回	参加延人数	16	88	104	18	78	96	21	67	88	9	51	60	348	12
12月	8回	参加実人数	14	26	40	7	30	37	11	28	39	9	47	56	172	47
	7回	参加延人数	19	84	103	33	119	152	26	91	117	24	109	133	505	19
1月	7回	参加実人数	13	31	44	7	32	39	10	25	35	9	47	56	174	50
	6回	参加延人数	25	105	130	27	94	121	22	79	101	25	112	137	489	23
2月	8回	参加実人数	4	23	27	7	20	27	8	21	29	5	26	31	114	26
	6回	参加延人数	10	59	69	18	54	72	15	55	70	14	49	63	274	11
3月	9回	参加実人数	10	28	38	7	22	29	9	22	31	6	21	27	125	44
	5回	参加延人数	18	116	134	33	104	137	21	103	124	19	43	62	457	12
合計	101回	参加実人数	115	313	428	84	313	397	101	265	366	79	438	517	1708	38
	66回	参加延人数	243	1084	1327	333	1094	1427	246	870	1116	203	1020	1223	5093	19

H29年度個別機能訓練実施回数及び人数

		2F						3F					
		男		女		計		男		女		計	
		人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数
歩行訓練	平行棒	12	74	0	0	12	74	12	63	0	0	12	63
	杖	1	1	12	73	13	74	0	0	0	0	0	0
	歩行器	0	0	0	0	0	0	0	0	7	28	7	28
	手引き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
起立訓練		0	0	10	54	10	54	1	1	26	158	27	159
ROM訓練		12	72	64	306	76	378	12	54	72	518	84	572
マッサージ		12	72	66	328	78	400	8	33	74	541	82	574
足踏み		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		1	1	11	39	12	40	3	9	14	34	17	43
総人数及び総回数		38	220	163	800	201	1020	36	160	193	1279	229	1439

		4F						ユニット						合計	
		男		女		計		男		女		計		総人数	総回数
		人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数		
歩行訓練	平行棒	8	35	4	11	12	46	5	18	13	52	18	70	54	253
	杖	0	0	0	0	0	0	0	0	11	83	11	83	24	157
	歩行器	0	0	14	74	14	74	0	0	3	5	3	5	24	107
	手引き	0	0	0	0	0	0	0	0	4	19	4	19	4	19
起立訓練		9	42	24	121	33	163	9	42	15	36	24	78	94	454
ROM訓練		41	228	43	226	84	454	9	31	97	468	106	499	350	1903
マッサージ		40	230	42	232	82	462	9	43	110	589	119	632	361	2068
足踏み		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		11	47	11	52	22	99	2	2	45	177	47	179	98	361
総人数及び総回数		109	582	138	716	247	1298	34	136	298	1429	332	1565	1009	5322

レクリエーションリハビリに関しては、各フロアで開催することによって、各月概ね同じ頻度で実施することが出来た。しかし、重度の認知症や障害の多様化に伴い、参加できる方が固定化してしまっている傾向があった。対策として、創作系のレクリエーション時、作業工程を単純化することや、カラオケの歌入り機能を活用して、音楽を聴いて頂くことを行い参加実績のない方にも参加して頂くことが出来た。レクリエーション内容を工夫することによって、より多くの方に参加して頂くことが出来たということは、次年度以降の大きな収穫になった。次年度以降は、単純化のみに限らず参加者の満足度にも目を向け更なる工夫が必要と考える。

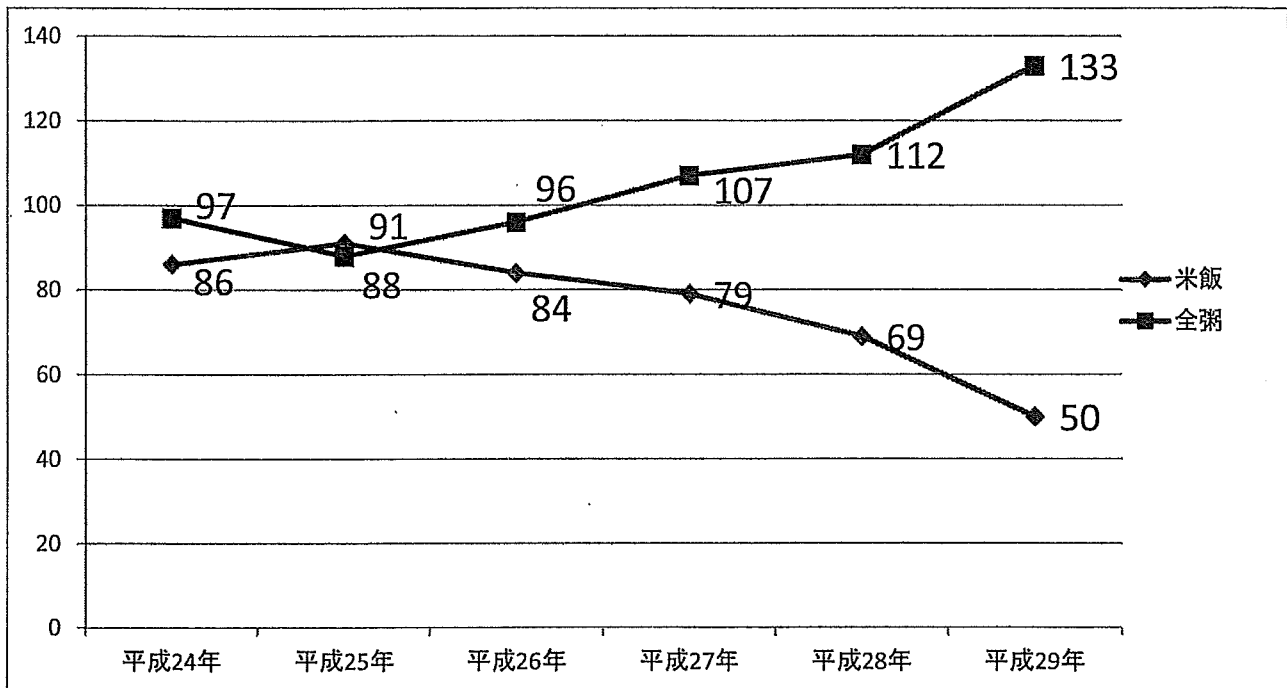
個別機能訓練総回数においては、前年度と比較し、増加しているが、職員体制の変化が大きいため、数値のみを判断材料とするのは難しいと考える。ご家族のリハビリに対する意向が増していることに加えて、障害の多様化に伴い、訓練内容の充実に向けていかなければならないと考える。次年度は、以上のことを踏まえてレクリエーションリハビリ・個別機能訓練の充実を図り、可能な限り意向を汲み取っていきたい。

4. 給食状況

食事区分(特養)の推移

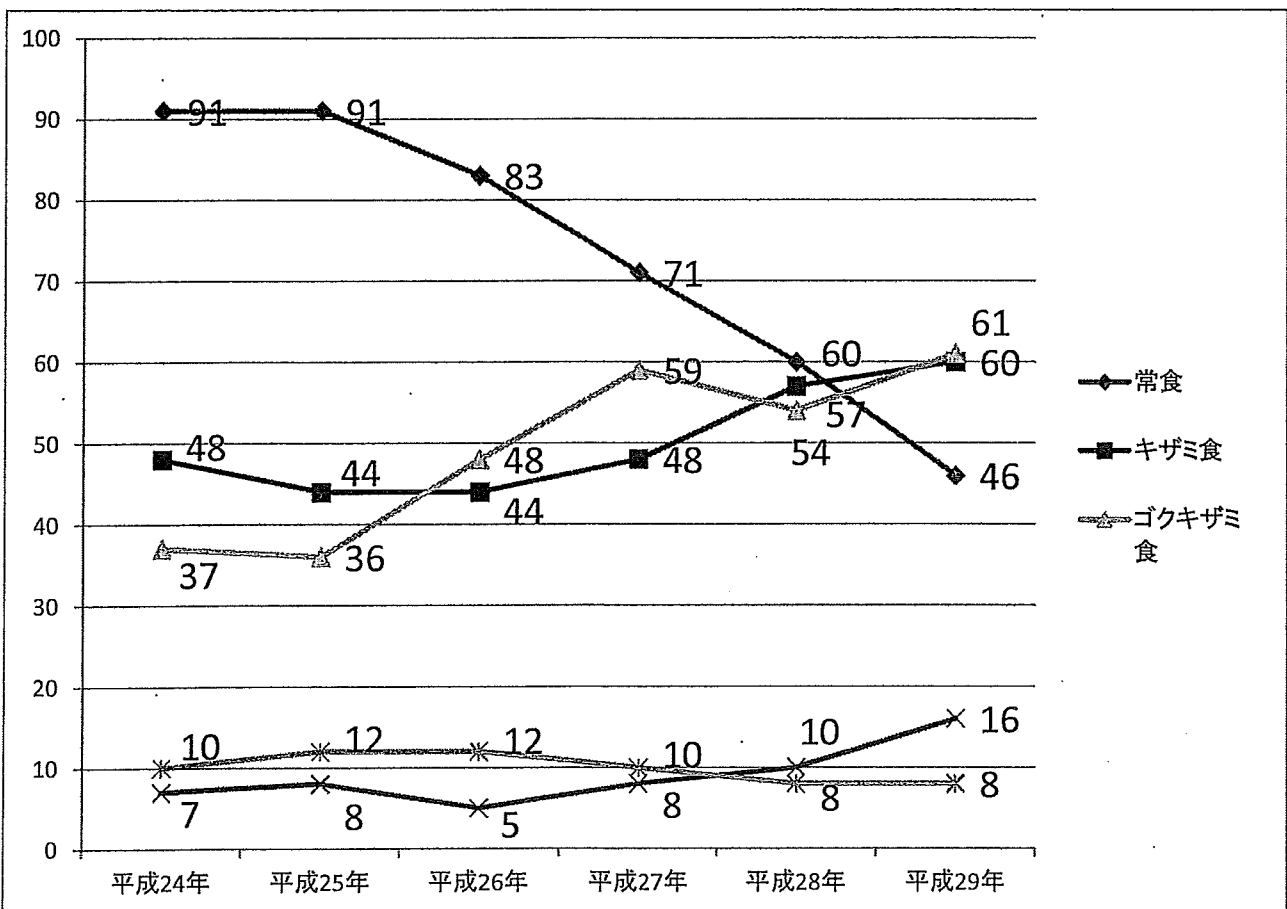
(平成30年3月31日現在)
(人数) ※ 但し、入院者は除く

< 主食 >



< 副食 >

(平成30年3月31日現在)
(人数) ※ 但し、入院者は除く



< 代替食 >

(人数)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
麺類	50	46	49	52	61	75	71	86
パン	52	41	47	40	48	64	57	70
肉	7	5	10	11	13	13	12	10
納豆	20	19	24	25	23	23	17	27
刺身	3	1	3	2	2	2	3	3
サバ	5	4	3	5	4	4	2	2
カレーライス	3	3	4	3	3	2	1	2

行事食実施内容

		行	事	献	立
5月5日	金	子供の日		ちらし寿司・すまし汁・茶碗蒸し・オクラの和え物・子供の日ゼリー	
6月7日	水	開園記念祝賀会		生寿司・すまし汁・料理詰合せ・茶碗蒸し	
6月16日	金	北海道神宮祭		赤飯・味噌汁・焼魚(紅鮭)・酢の物・フルーツ	
7月29日	土	夏祭り		焼鳥・つくね・おでん・とうきび・ふかし芋・フルーツ・焼きそば・枝豆・お好み焼・ケーキ ゼリーのぜんざい・アイスクリーム・プリン・ゼリー・かき氷・ビール・ジュース	
9月13日	水	敬老祝賀会		赤飯・すまし汁・料理詰合せ・茶碗蒸し	
12月20日	水	クリスマス会		鮭の親子御飯・クリスマス料理詰合せ・すまし汁・茶碗蒸し・クリスマスデザート	
12月24日	日	クリスマス		米飯・クリームシチュー・ほうれん草とコーン炒め・松前漬・フルーツ・クリスマスケーキ	
12月31日	日	大晦日		米飯・そば汁・すき焼き・茶碗蒸し・いんげん生姜風味	
1月1日	月	元旦(昼食)		かにめし・のし鶏・なます・フルーツ・新春デザート	
1月2日	火	(昼食)		ちらし寿司・すまし汁・花笠・春雨和えもの・フルーツ	
1月7日	日	七草		七草粥・焼き鳥・オクラおかか和え・フルーツ・プリン	
1月17日	水	新年交礼会		赤飯・すまし汁・おせち詰合せ・茶碗蒸し	
3月2日	金	ひなまつり		ちらし寿司・すまし汁・魚刀割のみぞれ煮・青菜とあさりの和え物・ひなまつりデザート	
最終水曜日		お誕生会		パースデイケーキ、フルーツミックス、たこ焼 シャンパン、ビール、日本酒、ジュース	

5. 年間行事反省

月・日・曜	行事名	内 容 (反 省)
5/10 (水)	ゲーム大会	昨年度と違うゲーム内容を2種類考案し実施した。今年度は参加者数も増え、また職員がチームワーク良く盛り上げることで、入居者の皆様にも楽しんで頂けたように思う。(70名参加)
6/7(水)	開園記念祝賀会	式自体は大きなトラブル等なくスムーズな進行が出来た。ただし、アトラクションが予定時間を過ぎてしまい、ほとんどの入居者の方が帰られてしまったが、民謡は聞きなじみのある曲で楽しまれている様子が伺えた。(176名参加)
7/29(土)	夏祭り	今年は去年の課題であったラウンジの利用に関して、ビデオカメラを設置することでほぼ満席状態で利用して頂けた。また介助者用テーブルの設置、バザーの開催等新たな試みをいくつか行ったがどれも好評で次年度以降にも反映させていきたい。(162名参加)
8/9 (水) [9/21(木)] [3/23(金)]	盆法話 (彼岸法話)	今年度は僧侶との調整に不備があったり、僧侶の都合の関係により日にちや時間が不確定だったり、準備不足があった。先祖供養は全員に共通し重要な行事の一つの為、滞りなく今後も実施していきたい。 (8/9—55名 9/21—55名 3/23—50名)
9/13(水)	敬老祝賀会	写真撮影がスムーズに行うことができ、式自体も無事終了することが出来た。日本舞踊の披露は入居者の方々には見えづらいようであったが、会場内を回ってくれたことで、握手や会話を楽しめる入居者の方もおり、楽しめている方も多く見られた。(166名参加)
10/21 (土)	レクリエーション大会	定刻より早く始めたが終了時間が押してしまったが競技自体は滞りなく行うことが出来た。職員同士の連携が上手く図れたことと、入居者の方はもちろん、家族や職員も楽しめるように企画出来たことが、楽しく実施出来た要因だったように思う。(122名参加)
12/11 (月)	ハンドベル演奏会	昨年実施できなかったハンドベル演奏会を今年は無事実施することが出来た。レクの時間に行う事で職員の観覧がなく、やや寂し気ではあったが、演奏前にカラオケを行うなど和やかな雰囲気のもと、演奏会を実施出来た。(13名参加)
12/13(水)	もちつき会	昨年同様、いも餅の提供を行ったが、今年は園児がインフルエンザにより来園する事が出来なくなり、急遽職員でハンドベルの演奏で盛り上げを図った。無事事故等なく、一年の締めくくりとして終えることが出来た。(71名参加)
12/20(水)	クリスマス会	今年度よりアルコール類をサイドのテーブルに置くことにしたが、特に問題なく進行出来た。昨年同様ハート音楽院の方々に演奏して頂いたが、入居者参加型で聞きなじみのある曲を演奏して頂くことで大いに盛り上がる会となった。(166名参加)
1/17(水)	新年交礼会	今年はビデオカメラを活用し、カラオケの参加者をスクリーンに投影したが、やはり見えにくいとの声が聞かれていた。お屠蘇の振る舞いは園長の着物姿が毎年好評で多くの入居者の方々に喜ばれていた。(166名参加)

月・日・曜	行事名	内 容 (反 省)
1/31 (水)	豆まき	入居者の方々の ADL の低下により豆を投げる動作が出来る方や豆まきを理解出来るかたが減ってきているように感じるが、職員のフォローにより今年も円滑に豆まきを行うことが出来た。ビデオカメラとプロジェクターを使った鬼の演出は好評だった。(72名参加)
2/13(火) 2/14(水) 2/15(木) 2/16(金)	映画会 「銀座の恋の物語」	外出機会の少ない冬場に映画を皆で鑑賞し、気分転換を図り、ひとときを楽しんで頂いた。入居者の方の要望に沿った映画を上映することで反響は大きかった。 2/13(火)ユニット 13名 2/14(水)2F 16名 2/15(木)3F 20名 2/16(金)4F 28名
3/16(水)	風船バレー大会	練習を各フロアしっかりと行い本番に臨んだ。練習ではリラックスして行っていた入居者の方々も本番は緊張した面持ちで思うように打てない方も多かった。年に数回、真剣に競技に取り組む入居者の方々の姿を見ると、今年も実施出来て良かったと感じることが出来る。(72名参加)
奇数月 第1水曜	利用者懇談会	定期的に開催し利用者の方の声や気持ちを聞く機会を設けているが、発言する方や参加する方が限られてきている。利用者の方の普段感じている生の声を聞くことができる為、今後もより多くの声が聞けるよう工夫し利用者の方の生活向上につなげていきたい。
隔週日曜 (13:30~ 16:00)	日曜喫茶	不定期だが、日曜日の午後に憩いの場として親しまれている。学生の協力を得て、開催しているが、より多くの方に利用してもらえよう検討していきたい。
年6回	大相撲星取大会	参加者に毎日の取り組みの勝敗を予想していただき、成績優秀者を場所ごとに表彰することで楽しんでいただいている。
毎月末水曜	誕生会	家族に働きかけ、共に入居者の誕生日を祝っている。

<離床促進デイ>

月・日	参加人数	内 容	月・日	参加人数	内 容
4/10	58	いも餅を味わう会	8/16	49	スイカ割り
4/17	43	いも餅を味わう会	8/21	15	スイカ割り
5/17	7	花見 (農試公園)	9/11	7	買い物 (アリオ札幌)
5/18	6	花見 (農試公園)	10/26	10	紅葉見学 (藻岩山)
6/14	79	フラワー保育園子ども神輿	1/25	55	かき餅を味わう会
6/15	76	町内会子ども神輿	2/5	7	雪まつり見学
6/26	7	円山動物園	2/8	7	雪まつり見学
7/5	7	円山動物園			

<創作サークル>

月・日	参加人数	内 容	月・日	参加人数	内 容
4/1	45	映画を観よう	10/18	13	DVD鑑賞会
4/15	41	映画を観よう	11/22	14	年賀状作り
5/17	12	夏祭りポスター作成	12/6	25	年賀状作り
6/21	10	夏祭りポスター作成	1/3	14	書初め
7/19	29	暑中見舞い作成	2/21	20	絵馬作り
8/23	26	牛乳パックの小物入れ作り	3/21	53	お彼岸の茶話会
9/27	53	フルーチェを作って食べよう	3/30		後期活動反省・前期活動計画策定

<カラオケサークル>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施回数(回)		2	2	6	2	3	3	3	3	3	2	1	3	33
参加延人数	男	17	9	40	11	15	13	11	15	11	16	3	21	182
	女	55	47	113	44	55	52	61	63	45	48	8	52	643
	計	72	56	153	55	70	65	72	78	56	64	11	73	825

<交流会>

月・日・曜	行事名	内 容 (反 省)
7/27 (木)	北光児童会館・北園小ミニ児童会館交流会	子どもたちによる歌と踊りの披露や、けん玉披露があり、子どもたち見て楽しみ、一緒に歌って楽しみ、和やかな雰囲気にもまれていた。(49名参加)
8/3 (木)	みかほ整肢園七夕交流会	園児による手遊び歌やプレゼント交換にて交流を図り、ひと時を楽しんだ。(8/3—37名、9/8—61名参加)
9/8 (金)	みかほ整肢園敬老交流会	
10/3 (月)	美香保小学校職場体験	子どもたちが職場体験として来園し、レクリエーションや歌を歌、入居者の方々との交流を図り、老人ホームの生活を学んでもらった。(10/3—13名、2/22—13名、2/27—8名参加)
2/22 (木)		
2/27 (火)		
11/8 (水)	聖ミカエル幼稚園交流会	園児によるお遊戯の披露や物送りゲームを行い、ひとときを楽しんだ。子どもたちの愛らしい遊戯に入居者の方々から多くの笑顔と歓声が上がっていた。(28名参加)
11/11 (土)	ガールスカウト交流会	毎年恒例のスカウトの子たちに来てもらい、今年はエコバックを一緒に作成し交流を図った。スカウトの子どもたちが積極的に話しかける様子は微笑ましく、楽しいひとときを過ごして頂いた。(22名参加)

<ユニット行事他> ひだまり1～4丁目（5階） めくもり1～4丁目（6階）

月/日	ユニット	内容	月/日	ユニット	内容
4/27	ひだまり1丁目	どら焼き作り	10/3	ひだまり4丁目	お茶会
5/1	ひだまり4丁目	あんこ巻きを楽しむ	10/20	めくもり4丁目	いももちを味わう
5/5	めくもり4丁目	お刺身を味わう	12/1	ひだまり4丁目	クリスマス飾り付け
5/7	ひだまり4丁目	生け花	12/9	ひだまり3丁目	おでんを味わう
5/14	ひだまり2丁目	母の日祝い	12/24	めくもり4丁目	クリスマス会
5/18	めくもり4丁目	生け花	12/26	ひだまり1・2丁目	おでんを味わう
5/24	ひだまり1丁目	いももちを味わう	12/31	めくもり1丁目	大晦日
6/16	めくもり4丁目	どら焼きを味わう	1/2	めくもり1丁目	書初め
6/19	ひだまり3丁目	茶話会	1/2	めくもり3丁目	
6/21	ひだまり1丁目	五目御飯を味わう	1/2	めくもり4丁目	
6/22	ひだまり3・4丁目	夏祭りポスター作り	1/3	めくもり3丁目	お汁粉を味わう
7/2	めくもり3丁目	パフェ作り	1/3	ひだまり4丁目	振る舞い酒
7/5	ひだまり2丁目	冷やし中華を味わう	1/18	ひだまり3・4丁目	鏡開き
7/9	めくもり1丁目	そばろ丼を味わう	1/21	めくもり2丁目	きつねうどんを味わう
7/27	ひだまり1丁目	流しそうめんを楽しむ	2/8	ひだまり3丁目	おでんを味わう
8/11	めくもり2丁目	冷やしそうめんを味わう	2/16	めくもり4丁目	チョコレート菓子を味わう
8/13	ひだまり4丁目	スイカ割り	2/22	ひだまり1・2丁目	ちゃんちゃん焼きを味わう
8/17	ひだまり3丁目	ソフトクリームを味わう	3/6	ひだまり4丁目	どら焼きを味わう
8/24			3/11	めくもり3丁目	生け花
8/30	ひだまり1丁目	フルーツカクテルを味わう	3/18	めくもり2丁目	炊き込みご飯と鮭の塩焼きを味わう
9/5	ひだまり4丁目	生け花	3/23	ひだまり1・2丁目	寄せ鍋を味わう
9/19	めくもり4丁目	炊き込みご飯を味わう	各月	各ユニットで実施	誕生会（全41回）

年々、入居者が重度化してきている事や職員の欠員継続もあり、予定通りに行事を行うことが難しいことがあったが、入居者が身近に楽しみとしている食事を、目の前で個々に合わせた形態で提供することで気分転換や喜びにつなげることができていたかと思う。次年度は、外出行事も含めて年間行事を検討していく。

6. 各種会議・委員会

1) 職員会議

隔月第3水曜日（16：30～17：00）に実施した。各セクションおよび各委員会の連絡事項や報告等は事前に文書により周知徹底し、会議運営の効率化を行なった。そして、各回毎のテーマを事前決定し、タイムリーな議題をもとに職員の意識統一や意見交換の場として会議の活性化を図った。しかし、特養介護士に関しては、変則勤務な事とフロア配置の兼ね合い・業務の都合で、出席できない職員が多かった。参加し易い時間への変更やできなかった職員への周知の工夫の検討も思うように進まなかった。

開催月日	内容（テーマ）	その他	参加者数
H29. 5/17	『介護予防・日常生活支援総合事業について』 居宅介護支援事業所 金塚 圭子	会議・委員会報告	29名
H29. 7/26	『食中毒の怖さと衛生面の大切さ』 札幌市東区健康子ども課 島谷 善一 様	会議・委員会報告	29名
H29. 9/13	『平成28年度 業務・ヒヤリハット 実績評価報告』 『事故を基にした外部徘徊事故の検証及び今後の課題や対策』 相談課長 佐藤 雅浩	会議・委員会報告	28名
H29. 11/8	『車椅子シーティングについての勉強会』 ㈱フロンティア 佐藤・土田 様	会議・委員会報告	29名
H30. 1/10	『防火対策と火災時の対応』 札幌市東消防署 予防課 防火推進係長 西野 宏治 様	会議・委員会報告	28名
H30. 3/7	『認知症ケア[優しさを伝える技術]』 映像学習 身体拘束廃止委員会より	会議・委員会報告	24名

2) 運営会議

月1回第1金曜日（15：30～）に実施した。中・長期計画を策定し、課題となっている人材確保や社会福祉法人としての責務についてどのような取り組みが求められているのか検討を行った。より活発な意見交換が必要なため、管理職の意識をさらに向上させ、職員全体に浸透していけるよう取り組んでいきたい。

<地域部会>

町内会で活動している交通安全街頭啓発や清掃に参加し、地域とのネットワーク強化に努めた。また、認知症カフェを開催した。

<施設部会>

「人材の教育と育成」のほか、「記録の電子化」においては施設全体の取り組みとして委員会を立ち上げ、検討を進めてきた。次年度以降は今年度までに作り上げた基盤を活用・修正して確立したものを作っていききたい。また、看取りなどの重度化対応に関する研修参加の継続やターミナルケアの運用指針をもとにシミュレーションを行っていく。

3) ケアサービス会議

月1回第3金曜日（15：30～）に実施した。各セクション間の行事予定・計画、日常の業務調整・連絡及び変更・新規事案の検討を行った。

4) 多床室リーダー会議

月1回火曜日（15：30～）実施した。入居者への良質なサービス提供とケアの統一を図るための検討。また、多床室3フロアにおける職員間の情報交換を行った。

5) ケース会議

月2回金曜日（15：30～）に実施した。新規入居者及び再入所者のケア内容の確認や居室の調整。また、入居者のADLの変化に伴うフロア調整や、フロア間の情報交換を細部にわたり検討し実施した。

6) ユニットリーダー会議

月1回第1火曜日（15：30～）に実施した。基本的接遇姿勢における定期的見直しを行うことはできていなかった。次年度は接遇に意識を向け、重点的に取り組んでいく事とする。また、入居者の重度化と職員の欠員が続いている事により、開催時間に実施できていない事や開催する曜日を変更する事があった。出席者も限られた人数となっていた。次年度は開催日や開催時間の変更を検討し、出席率を上げていく。

7) ユニットケース会議

月1回第3火曜日（15：30～）に実施した。24時間シートやケアプランに即した援助において各フロアで随時検討はなされていたが、処遇困難なケースの状況と各フロアでの取り組みについての報告のみで、ケアにおける他部

署からの意見はなく、協議・検討がなされる事はなかった。そのため会議のあり方はこれで良いのかとの疑問視される意見もあった。フロア業務を優先した動きをしていることや職員の欠員継続にある事から、開催時間に限られた職員しか参加できていなかった。他会議の開催日時も考慮しながら当会議開催時間を見直していく。

8) ケアカンファレンス

新規プラン策定・6ヶ月毎及び再入居時のプラン見直しの為、必要時カンファレンスを開催した。入居者と家族の意向を確認し、個性性を考慮してQOL向上に努めた。今後も、入居者・家族の思いを理解し尊厳保持を意識した支援が出来るよう心掛けていきたい。

9) 苦情処理委員会

隔月1回実施した。今年度よりご意見板を設置し、掲示することにより、頂いた意見の対応策の明確化を図った。どのご意見も施設をより良く改善するための貴重な意見として捉え、なるべく改善できるように検討した。実際に苦情として上がってきてはいないものでも、改善を望んでいる事項がある事も考えられるので、日頃より、意見・苦情を言いやすい環境を作っていきたい。

10) 身体拘束ゼロ推進委員会

緊急やむを得ない時限的な拘束は数件あったが、直ちに解除に向けた検討やセンサー機器を活用することで早期解除ができた。

拘束解除をしていく過程で提起された様々な課題を真摯に受け止め、また現場だけではなく施設全体の課題と捉え、職員間で情報を共有しながら拘束しないケアの実現に取り組んでいく。

今後も必要に応じて安全マットや機器(各種センサー)の活用、また研修等を通して全職員が身体拘束について共通の意識を持ち、拘束しないケアの実現を目指していく。

11) 業務マニュアル委員会

マニュアルの新規作成や見直しは、職員からの意見・希望を取り入れながら、園内研修(AED等)も参考に行った。また、作成済みのマニュアルを読みやすくするため、字を大きくし、写真付きでより具体的なものに作り直した。今後も継続して見直しを行い、使いやすいマニュアルを作成していく。

新入職員に参考としてマニュアルを配ったところ、分かりやすいと活用しており、新入職員に教える際も、参考にしていた。

ほぼ毎月、新しく作り直したマニュアルを小冊子にして休憩室に置くことで、気軽に手に取りマニュアルを見ることが出来た。マニュアルが、職員により身近なものとして活用できており、次年度以降も継続して行っていく。

12) 褥瘡予防委員会

入居者の褥瘡危険要因評価(OHスケール)について、担当者が判定を行い、リスクの高い方(6点以上)、褥瘡の有る方は随時、再チェックし、再評価、対策を実施している。

3月末現在 OHスケール 6点以上者(10名) エアマット使用者(7名) 褥瘡のある方(0名)
褥瘡やスキンケアに対しての研修会の開催、外部の研修会に参加し、情報の共有化に努めた。

13) 衛生委員会

<健康診断>

6月 142名(健康診断) 82名(腰椎検査)

12月 56名(健康診断) 79名(腰椎検査)

<ストレスチェック>

12月 154名

<その他>

労務災害4件、通勤災害1件、私傷病による休職8件あった。発生状況や要因を情報共有することで、再発防止に取り組むことができた。職員の健康管理、復職支援の体制整備に取り組んでいきたい。

13) 感染症予防委員会

<インフルエンザ予防接種(職員)>

11月 118名

<その他>

職員のインフルエンザ予防接種の実施や、掲示板を活用して面会者等へ周知を行うことで感染予防に努めた。インフルエンザについては、職員の感染7件、職員の家族が感染したことによる出勤停止は25件あり、大半が12~2月の流行期に集中していた。研修会や委員会で事前に注意喚起を促し、感染症届出書により速やかに状況を把握することで情報共有とまん延防止に努めることができた。

14) 広報委員会

<年間活動報告> 広報誌「はまなす」発行

第76号 平成29年 7月15日

第77号 平成29年 11月15日

第78号 平成30年 3月15日

<反省>

誌面については、写真を多く取り入れ作成している。

今後も入居者の欲しい情報を載せることを考え充実した誌面作りに努めていきたい。

他の施設や地域の方々との情報交換としてホームページでミニ広報誌の掲載をすることができたので、今後も取り組んでいく。

15) サービス向上委員会

職員の紹介写真を新しく作り替えた。

ストレス、怒りの感情をコントロールする手法である「アンガーマネジメント」の研修を企画し実施することが出来た。「アンガーマネジメント」研修の継続と、「接遇力向上」に向けての研修会を検討していく。

16) 防災委員会

今年度は新たに水害に対する避難訓練をデイサービスの利用者にも参加いただきながら実施した。

火災時の避難訓練については改築後から回数を重ねていることもあり、緊急時の対応について基本的なことは浸透してきたように思われる。しかしその一方で、マンネリ化している部分もあるため訓練内容の見直しの必要性も感じた。

地域との連携に関しては具体的な内容について進めることはできなかったが、相互に強い関心を持っていることが確認できた。

今後も訓練や学習会を通して職員の防災意識の向上に努めたい。

【訓練実績】

実施日	内容
H29. 8. 2	検証訓練
H29. 9. 27	水害時避難訓練
H30. 2. 7	避難訓練(特養)
H30. 2. 28	避難訓練(デイサービス)
H30. 3. 13	避難訓練(デイサービス)
H30. 3. 27	通報訓練

17) 研修委員会

新たな取り組みとして、介護士の職業病である腰痛予防の研修をおこなった。ヨガやストレッチを取り入れた研修で大変好評であった。また、介護士に特化した研修であるが報告書・記録の書き方研修会やおむつの当て方研修会をおこない、外部研修に参加できない状況の中でも内部研修を充実させることができたと思う。

次年度については、各セクションで個別の勉強会等を実施し職員個々の更なるスキルアップを図りたいと考えている。

<特養部門>

開催年月日	研修内容	参加者	開催地
H29/5/22	看取りケア研修実践編 看取りケアの体制整備と利用者の安らかな旅立ちに向けて	中村 忍 森本 一美	札幌市
6/13~15	社会福祉法人経営者研修会「人事管理コース」	中井 康人	神奈川県
7/4	平成29年度「社会福祉法人経営者セミナー」	角田 義寛 石亀 順子	札幌市
7/5	チームで取り組む褥瘡対策・感染対策 ～医療安全の視点から～	佐藤 正剛 大釜 望	札幌市
7/21	生活相談員研究会	佐藤 雅浩 花松 真秀	札幌市
7/27	札幌市ユニットケア基礎&24H シート研修	笠井 達子	札幌市

開催年月日	研修内容	参加者	開催地
7/27	平成29年度ニューパワー全体セミナー	角屋 理絵 菊地 彩	札幌市
8/17	福祉施設における社会貢献を考える研修	佐藤 雅浩 東野 和宏	札幌市
10/17～18	全国老協福祉施設研究会議 高知会議	大河 雅代 佐々木 好恵	高知県
10/27	ほのぼのNEXT ケアの記録の実践活用講座	佐藤 正剛	札幌市
11/10	平成29年度 広報研修会	堀切 健一	札幌市
11/13	地震BCP マニュアル訓練体験セミナー	東野 和宏	札幌市
11/14	全国老人福祉施設大会 福島大会	角田 義寛	福島県
11/17	第9回ユニットケアフォローアップ研修 2017	佐藤 佳子	札幌市
11/21	看取り及び死後のグリーフケア基礎研修	笠井 達子 伊藤 晴美	札幌市
11/25	2018年度ダブル改定の見通しと経営ポイント	中井 康人	札幌市
12/13	福祉施設のBCP マニュアル作成研修会	東野 和宏	札幌市
12/15	怒りの整理術～アンガーマネジメント	田中 悦子	札幌市
12/16	利用者の転倒・褥瘡・拘縮予防研修会	佐藤 克彦	札幌市
12/18	介護事業者様向けリスクマネジメントセミナー	田中 悦子	札幌市
H30/1/20	介護業界の事業計画の作り方	中井 康人	札幌市
1/29	平成29年度老人福祉施設長研究セミナー	中井 康人	札幌市
2/7～8	アンチエイジングと嚥下食セミナー	大治 幸恵 稲垣 未喜	札幌市
2/13	平成29年度「防火管理実務講習会」	東野 和宏	札幌市
2/14	介護保険制度改定・介護報酬改定への対応について	佐藤 雅浩	札幌市
2/15	平成29年度「社会福祉法人経営実務セミナー」	角田 義寛 中井 康人	札幌市
3/9	平成29年度特定給食施設等研修会	稲垣 未喜	札幌市

<在宅部門>

開催年月日	研修内容	参加者	開催地
H29/6/18	デイサービス&デイケア稼働率アップセミナー	斉藤 竜矢 中川 悠	札幌市
8/2	平成29年度札幌市介護保険サービス事業連絡会 「介護保険講演会」	金塚 圭子	札幌市
9/6	平成29年度札幌市ケアマネジメント能力向上 研修会	金塚 圭子	札幌市
10/16	事例から学ぶ徘徊認知症高齢者の支援に関する 研修会	金塚 圭子	札幌市
H30/2/14	2018年度介護報酬改定に向けて～今回の 法改正ポイント～	金塚 圭子	札幌市
2/20	平成29年度北海道デイサービスセンター 施設長研修	斉藤 竜矢	札幌市
3/19	東区内介護予防センター運動指導 スキルアップセミナー	花松 真秀 田村 恵子	札幌市

【内部研修】

開催年月日	研修内容	参加職種	参加人数
H29/6/26	報告書・記録の書き方についての勉強会	介護士	30名
6/28	報告書・記録の書き方についての勉強会	介護士	29名
6/30	報告書・記録の書き方についての勉強会	介護士	32名
7/6	報告書・記録の書き方についての勉強会(予備日)	介護士	3名
7/14	報告書・記録の書き方についての勉強会(予備日)	介護士	5名
7/19	報告書・記録の書き方についての勉強会(予備日)	介護士	3名
9/6	腰痛予防研修	全職種	37名
9/14	平成29年度中途採用職員研修	全職種	12名
10/3	テープ式おむつの勉強会	介護士	11名
10/4	テープ式おむつの勉強会	介護士	14名
10/5	テープ式おむつの勉強会	介護士	21名
10/27	身体拘束ゼロ推進委員会 担当研修	全職種	27名
10/31	身体拘束ゼロ推進委員会 担当研修	全職種	23名
11/17	外部研修報告会	全職種	35名
11/28	感染症及び食中毒の予防及びまん延防止の研修会	全職種	30名
12/15	AED講習会	全職種	31名
12/22	AED講習会	全職種	32名
H30/1/15	サービス向上委員会 アンガーマネジメント研修	全職種	27名
1/19	サービス向上委員会 アンガーマネジメント研修	全職種	37名
2/26	事故防止委員会 担当研修	全職種	27名
3/16	外部研修報告会	全職種	34名
3/28	平成29年度中途採用職員研修	全職種	10名

7. ボランティア活動状況

月別・種別活動人数(ボランティアサロン活動状況)

区分	清掃		コップ洗い		虹の会(手芸)		繕い物		その他		総活動数		活動費額
	人数	延べ人数	人数	延べ人数	人数	延べ人数	人数	延べ人数	人数	延べ人数	人数	延べ人数	
4月	14	112	3	12	3	3	3	3	1	1	24	131	39,300
5月	12	85	6	15	3	3	3	3	—	—	24	106	31,800
6月	12	92	4	12	3	3	3	3	5	5	26	114	34,200
7月	11	95	3	12	3	3	3	3	11	13	32	126	37,800
8月	11	89	5	15	3	3	3	3	1	3	23	113	33,900
9月	12	96	3	12	3	3	3	3	5	5	26	119	35,700
10月	14	101	3	15	3	3	3	3	—	—	22	121	36,300
11月	13	104	3	12	3	3	3	3	1	2	23	124	37,200
12月	13	98	3	12	3	3	3	3	12	13	34	129	38,700
1月	13	89	3	12	3	3	3	3	6	8	28	115	34,500
2月	13	94	3	12	3	3	3	3	—	—	22	112	33,600
3月	12	91	4	12	3	3	3	3	1	3	22	111	33,300
合計	150	1146	43	153	36	36	36	36	43	53	306	1421	426,300

大友恵愛園ボランティアサロン活動状況

月日	項目	摘要	
4月18日	総会	大友恵愛園ホール 3	参加者 15名
6月20日	昼食会	鳥一心	参加者 15名
8月29日	昼食会	ホテルモントレエーデルホフ「彩雲」	参加者 16名
10月3日～4日	研修会	万世閣ホテルミリオーネ	参加者 9名
2月10日	新年会	鶴雅ビュッフエダイニング	参加者 13名
<日常活動>		清掃（居室、廊下手摺り、洗面台、床頭台）	火・木・土曜日 9:30～10:30
		コップ洗い	火・木曜日 9:30～10:30

その他各種団体活動状況

月・日・曜	内容	摘要及び人数	
第1月曜日	ボランティアビューロー『コスモス』	手芸指導	参加者 4名
第2土曜日	虹の会	繕い物	参加者 4名
不定期	レクリエーション	創作活動補助	参加者 1名

19) 事故防止委員会

「業務報告書」の事故別区分及び発生場所別区分

場 所 事故区分	発生場所別区分						合計	園内 処置	通院	入院
	トイレ	居室	廊下	食堂・ ロビー	浴室	その他				
転倒	18	84	6	26	1	11	146	3	0	1
転落	3	26	1	4	1	1	36	0	0	0
外傷	3	31	1	5	19	5	64	4	0	0
誤薬	0	1	0	19	1	1	22	0	0	0
紛失	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
誤嚥	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0
異食	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0
外部徘徊	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	24	144	8	57	23	19	275	7	0	1

「業務報告書」の事故別各階別区分

	多床室			ユニット	計
	2F	3F	4F		
転倒	35	36	33	42	146
転落	8	6	9	13	36
外傷	6	10	8	40	64
誤薬	1	2	6	13	22
紛失	1	0	0	0	1
誤嚥	1	0	0	1	2
異食	1	0	0	1	2
外部徘徊	1	1	0	0	2
その他	0	0	0	0	0
合 計	54	55	56	110	275

「ヒヤリハット報告書」の事故別区分

	多床室			ユニット	計
	2F	3F	4F		
転倒	0	1	1	1	3
転落	0	1	0	1	2
外傷	0	0	0	2	2
誤薬	0	0	0	0	0
紛失	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	3	3
異食	0	0	0	0	0
施設内徘徊	3	3	1	2	9
その他	0	0	0	0	0
合 計	3	5	2	9	19

「皮膚変色報告」の発見時別区分及び推測要因別区分

推測要因 発見時区分		排泄	入浴	移動	食事	水分 補給	着衣	洗面	体交	医療	訪室	その他	合計
打撲	2F	4	4	5	1	1	1	0	0	0	0	2	18
	3F	8	1	5	1	1	0	0	0	4	0	9	29
	4F	6	14	8	5	0	1	0	0	0	1	11	46
	5F	13	12	13	15	1	16	0	1	0	13	8	92
	6F	10	13	15	2	2	11	0	2	1	2	15	73
圧迫	2F	1	3	1	1	1	0	0	0	0	0	2	9
	3F	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	5
	4F	1	10	0	0	0	0	0	0	0	1	3	15
	5F	1	5	0	2	0	0	0	0	0	3	3	14
	6F	1	11	1	0	0	6	0	0	0	0	10	29
採血 点滴	2F	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	11	12
	3F	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	5
	4F	1	2	0	0	0	0	0	0	14	0	1	18
	5F	0	3	0	0	0	0	0	0	7	2	4	16
	6F	0	0	0	1	0	2	0	0	8	0	8	19
その他	2F	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3F	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	5
	4F	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	2	5
	5F	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	4
	6F	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
計	2F	5	7	6	2	2	1	0	0	1	0	15	39
	3F	9	1	5	2	2	0	0	1	8	0	16	44
	4F	8	27	8	5	0	1	1	0	14	3	17	84
	5F	14	20	13	17	1	17	0	1	7	18	18	126
	6F	13	24	16	3	2	19	0	2	9	2	35	125
合計		49	79	48	29	7	38	1	4	39	23	101	418

- ① 前年度と比較し、事故総数は3割近く減少した。
- ② 事故内容としては、「転倒」が約半数を占めている。また、「転倒」「転落」した事例の場合、「外傷」に繋がっているケースが多く、「転倒」「転落」がADL低下に繋がる危険を伴う事を確認できた。
- ③ 事故総数が減っているのにも関わらず「誤薬」の数があまり減っていない。今一度、服薬時のルールを確認しヒューマンエラーを減少する取り組みが必要である。
- ④ 「皮膚変色報告書」も前年より3割近く減少した。日頃から職員が注意しながら介護に当たっている結果だと思われる。また、原因が不明ながら、大きな変色が見られたケースもあったので、より一層注意して介助する事を確認した。

8. 実習生受け入れ状況

介護福祉士養成校の生徒数の減少もあり、実習の依頼も減少している。
雇用に繋がる実習の依頼がある場合には積極的に受け入れをしていきたいと考えている。

学校名	期間	実習生数	内容
あずみ福祉カレッジ	6/9～6/19	2	介護実習
〃	9/28～10/6	1	介護実習
北海道大学（歯学部）	4/12・5/24・6/7・10/11・11/15 12/20・1/31・2/21	48	介護体験実習
北海道薬科大	7/3～7	2	介護体験実習
〃	7/10～14	4	介護体験実習
北斗高校	10/26～27	1	介護職員初任者研修
〃	10/30～31	2	介護職員初任者研修
北辰中学校	11/16	5	インターンシップ

9. ホール貸出状況

地域福祉の推進を目的に、趣味サークルや他機関の研修会等にホールを開放した。予防センターが実施し自主化されたタッピー体操の関連サークルが定期利用となったが、利用を中止したサークルもあったため延べ貸出回数が123回(前年度150回)となった。

時間外(17時以降や土日等)の希望者にも一部対応するなど、ホール貸出の管理に関する職員の負担が増えていることが課題となっているが、今後も施設設備を有効活用した地域貢献のひとつとして継続していきたい。

団体名	種別	回数	団体名	種別	回数
札幌市みかほ整肢園	障がい福祉	4	ロンデ	サークル	46
㈱リアンエンジェル	障がい福祉	2	木曜ダンスサークル	サークル	1
NPO法人どろんこクラブ	障がい福祉	7	タッピーハッピークラブ	サークル	14
レクダンスサークル	サークル	36	フレッシュタッピー体操	サークル	13

平成 29 年度

居 宅 事 業 報 告

1. 介護予防センター

1. 利用方法別相談状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	電話	3	2	7	5	5	4	1	2	5	2	1	2	39
	訪問	2	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	7
	面接	2	0	2	2	1	2	0	1	1	0	1	1	13
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	7	2	10	7	7	6	2	3	6	3	2	4	59

2. 相談者状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	本人	4	2	4	5	2	1	2	1	2	3	0	2	28
	家族・親戚	1	0	1	2	1	1	0	1	0	0	1	1	9
	知人・近隣	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	介護支援専門員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護保険サービス事業所	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	民生委員	0	0	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	6
	福祉のまち推進委員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	町内会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医療機関	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	行政機関	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	地域包括支援センター	0	0	1	0	0	1	0	0	3	0	0	1	6
	その他	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	合計	7	2	10	7	7	6	2	3	6	3	2	4	59

3. 月別及び相談内容別相談状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談内容	介護保険制度	2	1	2	1	6	0	0	2	0	0	1	1	16
	介護予防	4	1	7	3	1	6	1	1	3	2	1	1	31
	保健福祉サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	権利擁護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費者被害関連	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症関連	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	高齢者虐待	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	心身の健康	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	3
	住まい	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	その他	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	3
	合計	8	2	10	7	7	6	2	3	6	3	2	4	60

<総括>

- ・相談内容や相談者の状況に応じて、行政や地域包括支援センター、民生委員等との連携による支援を円滑に行った。
- ・平成28年度迄開催していた情報交換会から見てきたマンションの高齢者の見守りや三機関の周知不足について、地区にあるマンションを選定し地区地域ケア会議を開催した。地域が抱える課題に対し関係者で意見交換を行いそれぞれの立場から行える支援を話し合った。
- ・他の介護予防センターと情報交換を行うことで、介護予防事業の支援内容の充実化を図ることができた。
- ・地域活動支援では、地域団体の介護予防活動を支援することができた。今後も早期発見・早期対応の基盤作りに努めていきたい。
- ・北光エリア内で4ヵ所の短期体操教室を開催した。終了後、参加者の体操を継続したいとの意向を受け住民主体の自主グループとして立ち上がった。

4. 活動報告

月	会議等	地域活動支援・介護予防事業等
4月	5日 東区予防C意見交換会	6日 すこやか倶楽部 (絵手紙教室…大友恵愛園)
	12日 地区連絡会議	13日 介護予防教室 (蓄音機カフェ…大友恵愛園)
	18日 北老連 定期総会	14日 地域活動支援 (美香保クラブ…北光会館)
	東区連絡会議	21日 転倒予防教室 (第3ファミリーマンション談話室)
	19日 タピサポ会議	27日 転倒予防教室 (大友恵愛園)
	25日 民児協 定例会議	
26日 すこやか打ち合わせ		
5月	2日 タピサポ会議	1日 地域支援事業 (徳洲会病院医療講座…東区民センター)
	北光地区連絡会議	11日 すこやか倶楽部 (お花見…戸田墓地記念公園)
	第1回第4町内会第5分区	12日 地域支援事業 (美香保クラブ…北光会館)
	意見交換会	15日 地域支援事業 (さつき会…ダイアパレス北12条)
	連町常任理事会	18日 すこやか倶楽部 (絵手紙教室…大友恵愛園)
	15日 第9分区町内会班長会議	25日 認知症予防教室 (大友恵愛園)
	タピサポ会議	
	東区連絡会議	
	年輪大学打ち合わせ	
	17日 福まち会議	
	18日 地区連絡会議	
	19日 タピサポ会議	
	23日 社協ボラ連打ち合わせ	
	26日 社協打ち合わせ	
29日	第9分区と打ち合わせ (認知症カフェボランティア)	
	介護予防C職員 情報交換会	
	31日 麻生脳外科打ち合わせ	
6月	東区ボランティア連絡会 の研修会	1日 すこやか倶楽部 (絵手紙教室…大友恵愛園)
	地区連絡会議	8日 転倒予防教室 (大友恵愛園)
	第2回第4町内会第5分区	15日 地域活動支援 (明和クラブ…美香保団地集会室)
	意見交換会	16日 地域活動支援 (美香保クラブ…北光会館)
	福まち打ち合わせ	17日 第1回 美香保団地わくわく交流会 (美香保団地集会室)
	8日 福まち三役会議	22日 すこやか倶楽部 (音楽お食事会…大友恵愛園)
	9日 年輪大学打ち合わせ	27日 認知症カフェ (大友恵愛園)
	16日 タピサポ会議	
	20日 東区連絡会議	
	7月	3日 福まち会議
東区手帳会議		6日 すこやか倶楽部 (絵手紙教室…大友恵愛園)
4日 第6回 元気を繋ぐプロジェ クト会議		11日 年輪大学 (東区民センター)
11日 年輪大学反省会		13日 すこやか倶楽部 (手工芸…大友恵愛園)
21日 東区連絡会議		14日 地域支援事業 (美香保クラブ…北光会館)
24日 すこやか打ち合わせ		27日 すこやか倶楽部 (バスレク…ひまわりの里)
26日 白樺ときめきサークル 打ち合わせ		28日 地域支援事業 (たんぼぼ会…第3ファミリー談話室)
31日 介護予防C職員情報交換会		
8月		9日 福まち打ち合わせ
	平成29年度 第1回一般 介護予防モデル事業連 絡会議	3日 すこやか倶楽部 (絵手紙教室…大友恵愛園)
		4日 地域支援事業 (美香保クラブ…北光会館)
		9日 麻生脳外科タッピ一体操教室 (札幌麻生脳神経外科病院)
	17日 北光地区福祉のまちづ くりネットワーク連絡 会会議	10日 転倒予防教室 (大友恵愛園)
		17日 地域支援事業 (明和クラブ…美香保団地集会室)
		23日 麻生脳外科タッピ一体操教室 (札幌麻生脳神経外科病院)
	18日 第1エリア 介護予防センター会議	24日 すこやか倶楽部 (おやつ作り…大友恵愛園)
	東区連絡会議	25日 すこやか倶楽部 (第3ファミリー談話室)
	25日 北光地区 関係者情報交換会	30日 麻生脳外科タッピ一体操教室 (札幌麻生脳神経外科病院)
	第7回 元気を繋ぐプロ ジェクト会議	

月	会議等	地域活動支援・介護予防事業等	
9月	4日 介護予防C職員情報交換会	1日 白樺ときめき☆サークル (北光白樺会館)	
	北光地区関係者情報交換会	地域支援事業 (美香保クラブ…北光会館)	
	13日 福まちフォーラム	6日 麻生脳外科タッピー体操教室 (札幌麻生脳神経外科病院)	
	15日 第8回 元気を繋ぐプロジェクト会議	7日 地域活動支援 (明和クラブ…美香保団地集会所) すこやか倶楽部 (絵手紙教室…大友恵愛園)	
	19日	平成29年度 第1回 高齢者の権利擁護に係わる弁護士との勉強会	8日 白樺ときめき☆サークル (北光白樺会館)
			13日 麻生脳外科タッピー体操教室 (札幌麻生脳神経外科病院)
			14日 すこやか倶楽部 (すこやか食育支援事業…大友恵愛園)
	東区連絡会議	15日 白樺ときめき☆サークル (北光白樺会館)	
	20日 北光地区連絡会議	20日 麻生脳外科タッピー体操教室 (札幌麻生脳神経外科病院)	
	27日 第2回タピサボ会議	22日 白樺ときめき☆サークル (北光白樺会館)	
	東区予防センター研修会	25日 認知症カフェ (大友恵愛園)	
	29日	予防センター業務連絡会議	26日 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 AM (大友恵愛園) 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 PM (大友恵愛園)
			27日 麻生脳外科タッピー体操教室 (札幌麻生脳神経外科病院)
			28日 認知症予防教室 (大友恵愛園)
		29日 白樺ときめき☆サークル (北光白樺会館)	
10月	3日 福まち昼食会打合せ	3日 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 AM (大友恵愛園) 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 PM (大友恵愛園)	
	10日 地区地域ケア会議準備	4日 麻生脳外科タッピー体操教室 (札幌麻生脳神経外科病院)	
	17日 東区連絡会議	5日 すこやか倶楽部 (絵手紙教室…大友恵愛園)	
	20日 第9回 元気を繋ぐプロジェクト会議	6日 地域活動支援 (福まちふれあい昼食会…北光会館)	
	24日	地区地域ケア会議準備会	10日 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 AM (大友恵愛園) 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 PM (大友恵愛園)
			11日 麻生脳外科タッピー体操教室 (札幌麻生脳神経外科病院)
	31日 第3回 タピサボ会議	12日 転倒予防教室 (大友恵愛園)	
		13日 地域活動支援 (美香保クラブ…北光会館)	
		白樺ときめき☆サークル (北光白樺会館)	
		16日 地域活動支援 (北東クラブ…北東会館)	
		17日 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 AM (大友恵愛園) 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 PM (大友恵愛園)	
		18日 麻生脳外科タッピー体操教室 (札幌麻生脳神経外科病院)	
		19日 地域支援事業 (徳洲会病院医療講座…東区民センター)	
		20日 白樺ときめき☆サークル (北光白樺会館)	
		23日 すこやか倶楽部 (バスレク…定山溪ホテルミリオーネ)	
		24日 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 AM (大友恵愛園) 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 PM (大友恵愛園)	
		25日 麻生脳外科タッピー体操教室 (札幌麻生脳神経外科病院)	
	26日 地域支援事業 (5分区町内会いきいきサロン…北光白樺会館)		
	27日 白樺ときめき☆サークル (北光白樺会館)		
	28日 地域支援事業 (つくし会…美香保団地集会所)		
	31日 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 AM (大友恵愛園) 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 PM (大友恵愛園)		
11月	1日 北光地区関係者情報交換会	地域活動支援 (明和クラブ…美香保団地集会所)	
	2日 第1回タピサボ反省会	2日 すこやか倶楽部 (絵手紙教室…大友恵愛園)	
	6日 介護予防C職員情報交換会	タッピーサポーター養成講座…東区民センター	
	8日 地区地域ケア準備会議	北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 AM (大友恵愛園)	
	9日 第2回タピサボ反省会	7日 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 PM (大友恵愛園)	
	16日 第3回タピサボ反省会	タッピーサポーター地域実習…厚別	
	20日	東区地域ケア推進会議 タピサボ臨時会	9日 介護予防教室 (蓄音機カフェ…大友恵愛園) タッピーサポーター養成講座…東区民センター
			10日 地域活動支援 (美香保クラブ…北光会館)
	21日 東区連絡会議	白樺ときめき☆サークル (北光白樺会館)	
	30日	地区ケア会議準備会 第4回タピサボ反省会	10日 白樺ときめき☆サークル (北光白樺会館)
			11日 地域活動支援 (にじの会…北東会館)
			14日 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 AM (大友恵愛園) 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 PM (大友恵愛園)
			すこやか倶楽部 AM (手工芸…大友恵愛園)
			16日 すこやか倶楽部 PM (手工芸…大友恵愛園) タッピーサポーター養成講座…東区民センター
			17日 白樺ときめき☆サークル (北光白樺会館)
			20日 地域活動支援 (北東クラブ…北東会館)
			21日 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 AM (大友恵愛園) 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 PM (大友恵愛園)
		22日 タッピーサポーター地域実習…厚別	
		24日 すこやか倶楽部 (第3ファミリー談話室)	

月	会議等	地域活動支援・介護予防事業等
11月		27日 認知症カフェ (大友恵愛園)
		28日 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 AM (大友恵愛園) 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 PM (大友恵愛園)
		30日 タッピーサポーター養成講座…東区民センター
12月	1日 白樺ときめき意見交換会	1日 地域活動支援 (美香保クラブ…北光会館)
	4日 白樺ときめき打ち合わせ	北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 AM (大友恵愛園)
	7日 第5回タピサポ反省会	5日 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 PM (大友恵愛園)
	18日 支え合いをひろげる地域づくりシンポジウム	地域活動支援 (福まち年賀状作成…北光会館)
	19日 東区連絡会議	6日 地域活動支援 (麻生タッピー体操教室…麻生脳神経外科病院)
	22日 第10回 元気を繋ぐプロジェクト会議	地域活動支援 (明和クラブ…美香保団地集会室)
		7日 すこやか倶楽部 (絵手紙教室…大友恵愛園) タッピーサポーター養成講座…東区民センター
	28日 第1回モデル事業に関する意見交換会	8日 すこやか倶楽部 (手工芸…第3ファミリー談話室)
		12日 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 AM (大友恵愛園) 北光いきいきタッピークラブ in 大友恵愛園 PM (大友恵愛園)
		14日 すこやか倶楽部 (クリスマス会)
1月		21日 すこやか倶楽部 (忘年会…アサヒビール園)
	16日 元気をつなぐプロジェクト臨時会議	4日 地域活動支援 (明和クラブ…美香保団地)
	東区連絡会議	9日 地域活動支援 (フレッシュタッピー体操クラブ…大友恵愛園) 地域活動支援 (タッピーハッピークラブ…大友恵愛園)
	17日 北光地区連絡会会議	10日 地域活動支援 (麻生タッピー体操教室…麻生脳神経外科病院)
	27日 地区地域ケア会議	11日 すこやか倶楽部 (新年交流会…大友恵愛園)
	31日 介護予防C職員情報交換会	15日 地域活動支援 (レインボー…アカシア)
		16日 地域活動支援 (ひまわり…美香保団地集会室)
		18日 すこやか倶楽部 (絵手紙教室…大友恵愛園)
		19日 地域活動支援 (美香保クラブ…北光会館)
		19日 地域活動支援 (第9分区町内会新年会…北光会館)
	25日 認知症予防教室 (大友恵愛園…大友恵愛園)	
	26日 地域活動支援 (たんぼぼ会…第3ファミリー談話室)	
2月	6日 福まち打ち合わせ	1日 すこやか倶楽部 (絵手紙教室…大友恵愛園)
	7日 第1回タッピーサポーター養成講座フォローアップ研修準備会	2日 地域活動支援 (明和クラブ…美香保団地集会室) 地域活動支援 (美香保クラブ…北光会館)
	9日 北光地区連絡会会議	6日 地域活動支援 (フレッシュタッピー体操クラブ…大友恵愛園) 地域活動支援 (タッピーハッピークラブ…大友恵愛園)
	13日 H30年度地域包括支援C・介護予防C運営方針説明会・研修会	7日 地域活動支援 (麻生タッピー体操教室…麻生脳神経外科病院) 8日 転倒予防教室 (大友恵愛園) 9日 地域活動支援 (たんぼぼ会…第3ファミリー談話室)
	介護予防C連絡会議・研修会	22日 すこやか倶楽部 (おやつ作り…大友恵愛園)
	15日 H30年度地域包括支援C介護予防C研修会の取組報告のみ	
	16日 タッピーサポーター養成講座第1包括エリア打ち合わせ会議	
	第1エリア保健師との打ち合わせ	
	第11回 元気を繋ぐプロジェクト会議	
	19日 H29年度「介護予防推進フォーラム」及び「住民主体の通いの場充実支援事業研修会」研修	
	20日 東区連絡会議	
	21日 地区地域ケア会議モニタリング	
	26日 第7回タッピーサポーター養成講座フォローアップ研修	
	27日 介護予防センター伏古本町教室サポート	
	28日 保健師と北光地区関係者会議	

月	会議等	地域活動支援・介護予防事業等	
3月	1日	H29年度第2回札幌市一般介護 予防モデル事業連絡会議	1日 地域活動支援 (明和クラブ…美香保団地集会室)
			1日 すこやか倶楽部 (絵手紙教室…大友恵愛園)
	7日	H29年度第4回札幌市介護 予防センター連絡会議	2日 地域活動支援 (美香保クラブ…北光会館)
			6日 地域活動支援 (フレッシュタッピー体操クラブ…大友恵愛園)
	14日	福まちボランティア研修	6日 地域活動支援 (タッピーハッピークラブ…大友恵愛園)
		第7回タピサボ養成講座 フォローアップ研修反省会	8日 介護予防教室 (口腔機能向上…大友恵愛園)
	14日	北光地区連絡会議	9日 地域活動支援 (たんぼぼ会…第3ファミリー談話室)
	16日	第12回元気を繋ぐプロ ジェクト会議	14日 地域活動支援 (麻生タッピー体操教室…麻生脳神経外科病院)
			15日 第3ファミリーすこやか倶楽部 (外出レク…月寒温泉)
	19日	東区内介護予防センター運 動指導スキルアップ セミナー	22日 すこやか倶楽部 (外出レク…ガトーキングダムサッポロ)
	19日	理学療法士との意見交 換会	
	20日	地区連絡会議	
	26日	3分区民生委員とライオンズM Cステッカー配布	
	27日	5分区町内会役員と自主グルー プ再開打ち合わせ	
	29日	介護予防C情報交換会	

2. 居宅介護支援事業所

1. 要介護度別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
要支援1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	16
要支援2	6	5	4	3	3	3	4	4	4	4	3	3	46
要介護1	35	39	37	39	40	41	38	38	37	37	35	35	451
要介護2	14	13	12	12	11	9	7	3	4	5	6	7	103
要介護3	7	7	8	7	7	7	6	9	7	7	7	7	86
要介護4	4	3	3	2	3	3	3	3	3	3	2	2	34
要介護5	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	25
計	69	71	69	68	68	67	62	61	60	61	57	58	771

2. 年齢別利用状況

(平成30年3月31日現在)

	65歳未満	65歳～ 69歳	70歳～ 74歳	75歳～ 79歳	80歳～ 84歳	85歳～ 89歳	90歳～ 94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	5	5	6	0	0	16
女	0	1	3	3	13	12	7	3	42
計	0	1	3	8	18	18	7	3	58

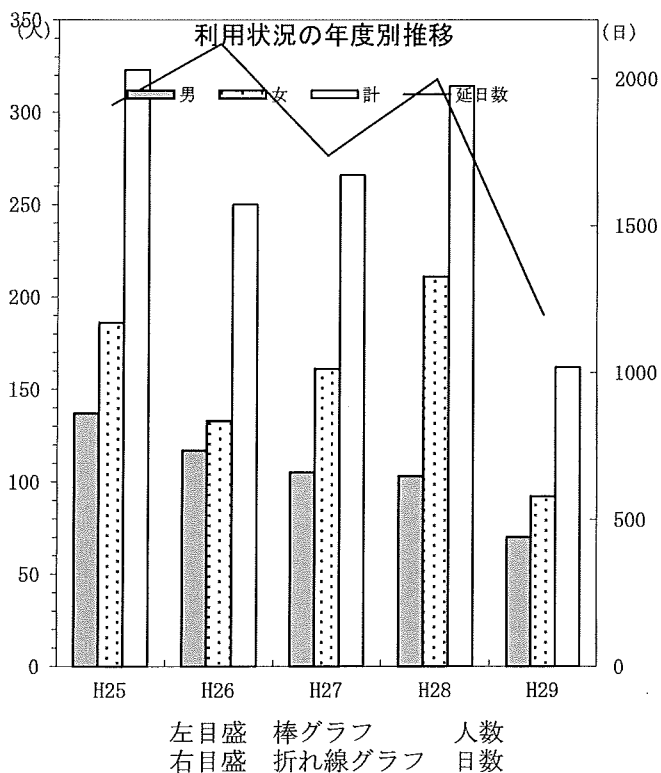
<総括>

- ・利用者を取り巻く環境や課題が多岐・多様化傾向にあるが、利用者の在宅生活における自立を阻害している要因を明らかにしながら、本人や家族の意向を踏まえ、自立に向けた支援ができるよう取り組んだ。
- ・行政機関や病院、他サービス事業所等と連携を図り、利用者の選択に基づき適切なサービスの調整が行えるよう取り組んだ。

3. ショートステイ

1. 利用状況

	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	男	女	計	延日数	男	女	計	延日数	男	女	計	延日数	男	女	計	延日数	男	女	計	延日数
4月	12	13	25	147	9	9	18	163	10	14	24	199	8	19	27	169	10	12	22	157
5月	12	11	23	144	8	10	18	160	9	16	25	163	9	19	28	155	8	14	22	152
6月	5	12	17	115	11	10	21	170	9	11	20	121	6	16	22	123	6	5	11	91
7月	6	16	22	161	9	11	20	188	8	14	22	159	7	15	22	140	4	8	12	90
8月	8	20	28	190	10	11	21	205	11	13	24	154	9	22	31	211	6	6	12	77
9月	11	21	32	155	8	10	18	184	10	14	24	153	9	19	28	169	5	7	12	73
10月	15	17	32	154	12	13	25	190	10	15	25	174	10	17	27	190	5	5	10	70
11月	19	15	34	181	11	14	25	217	7	14	21	150	12	21	33	200	5	7	12	81
12月	13	19	32	172	10	11	21	171	8	12	20	146	8	17	25	155	6	8	14	114
1月	12	13	25	162	9	11	20	148	5	15	20	104	8	15	23	155	5	7	12	99
2月	12	13	25	158	11	11	22	146	7	11	18	91	6	14	20	139	5	6	11	98
3月	12	16	28	173	9	12	21	176	11	12	23	124	11	17	28	192	5	7	12	95
合計	137	186	323	1,912	117	133	250	2,118	105	161	266	1,738	103	211	314	1,998	70	92	162	1,197



○1回当たり 平均利用日数

$$\frac{\text{延日数 (1,197日)}}{\text{実質利用回数 (162回)}} \approx 7.3\text{日}$$

○1日当たり 平均利用者数

$$\frac{\text{延日数 (1,197日)}}{365\text{日}} \approx 3.3\text{人}$$

○一人当たり 年間平均利用回数

$$\frac{\text{実質利用回数 (162回)}}{\text{実質利用者数 (30人)}} \approx 5.4\text{回}$$

2. 利用者要介護度別延人数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均要介護
男	1	0	8	32	29	0	0	70	2.3
女	0	1	19	50	12	7	3	92	2.0
計	1	1	27	82	41	7	3	162	2.1
延べ 利用日数	15	6	188	598	329	48	13	1,197	

3. 理由別利用者数(実質利用回数)

理由	理由別	人数(人)		
		男	女	計
社会的	疾病・入院	1	0	1
	看護	0	0	0
	出張	0	5	5
	冠婚葬祭	0	0	0
	就労	0	12	12
私的	介護疲れ	67	46	113
	旅行	0	12	12
	外出	2	15	17
	引越・住宅改修	0	0	0
单身	单身生活困難	0	2	2
合計		70	92	162

4. 保険者別利用者数(実質利用者)

	男	女	計
東区	12	17	29
中央区	1	0	1
計	13	17	30

昨年度の5月より介護職員の人員不足の影響で、ショートステイの新規の受け入れを行うことが出来ず、定期利用の方のみの受け入れとなっていた。そのため、実績は昨年の1/3程度となっており、空床が半分以上の状態です。定期利用の方の利用の多くは介護疲れによる利用で、1年以上当園ショートステイを利用して頂いている方がほとんどである。また、新規利用の問い合わせも各居宅支援事業所より多数頂いており、立地条件や通いやすさ、特養入居の希望も含めて選択頂いていたことから、在宅生活を続ける上で当園のショートステイが果たす役割は大きいことを再度実感した。

次年度以降、新規利用の受け入れが増えることが予測されるが、新規利用受け入れに伴う現場職員の負担の軽減を図りながら、家族や各居宅介護支援事業所との連携を密に行うことで、将来を見据えた利用や、家族のレスパイトを中心に、地域に根差したサービスを展開していきたい。

4. デイサービス

(1) 通所介護(であい)

1. 月別利用状況

(平均利用者数 18.0人)

	登録者数	実利用人数	延利用者数	開設日数	サービス別利用者数		介護度別利用者数				
					入浴	給食	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	48	44	361	20	296	361	258	82	13	8	0
5月	47	45	403	23	303	403	291	93	10	9	0
6月	47	46	412	22	331	412	299	98	9	6	0
7月	47	45	394	21	327	394	294	85	15	0	0
8月	50	47	426	23	381	426	324	91	11	0	0
9月	47	45	397	21	349	397	306	81	10	0	0
10月	46	45	388	22	344	388	302	72	14	0	0
11月	50	46	384	22	331	384	289	73	17	4	1
12月	50	48	359	20	309	359	270	70	11	8	0
1月	49	44	361	20	313	361	251	80	14	16	0
2月	48	43	351	20	305	352	254	69	14	14	0
3月	50	44	376	22	327	376	253	91	18	14	0
合計		542	4,612	256	3,916	4,613	3,391	985	156	79	1

2. 性別・年齢別利用者数

(平成30年3月31日現在)

	～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計
男	0	0	0	0	1	3	1	0	1	0	6
女	0	0	1	1	4	13	14	8	4	0	45
計	0	0	1	1	5	16	15	8	5	0	51

最大年齢	99歳5ヵ月	最少年齢	68歳5ヶ月	男性平均	84歳7ヶ月	女性平均	86歳5ヶ月	平均年齢	86歳2ヶ月
------	--------	------	--------	------	--------	------	--------	------	--------

(2) 介護予防通所介護(であい)

1. 月別利用状況

(平均利用者数 2.5人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数		20	19	17	15	10	7	6	5	5	4	0	0	101
実利用人数		20	19	17	15	9	6	5	4	4	2	0	0	
延利用者数		115	122	117	96	61	45	30	22	13	9	0	0	630
開設日数		20	23	22	21	23	21	22	22	20	20	20	22	256
用スサ 者別 数利 ビ	給食	115	122	117	96	61	45	30	22	13	9	0	0	630
利介 用護 者度 数別	要支援1	27	27	17	15	7	0	4	4	0	0	0	0	101
	要支援2	88	95	100	81	54	45	26	18	13	9	0	0	529

2. 性別・年齢別利用者数

(平成30年3月31日現在)

	～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計
男	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
女	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
計	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	4

最大年齢	98歳9ヶ月	最少年齢	78歳3ヶ月	男性平均	89歳2ヶ月	女性平均	81歳3ヶ月	平均年齢	85歳3ヶ月
------	--------	------	--------	------	--------	------	--------	------	--------

(3) 総合事業・札幌市通所型サービス(であい)

1. 月別利用状況

(平均利用者数 3.4人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数		2	3	7	7	10	14	16	18	19	21	23	22	
実利用人数		2	3	7	7	10	14	16	18	19	19	21	20	156
延利用者数		16	20	28	40	67	76	100	117	102	91	103	107	867
開設日数		20	23	22	21	23	21	22	22	20	20	20	22	256
用スサ 者別 数利 ビ	給食	16	20	28	40	67	76	100	117	102	91	103	107	867
利介 用者 度 数別	事業対象者	0	0	4	4	5	4	5	4	4	5	4	2	41
	要支援1	0	5	9	12	20	20	20	24	21	27	20	24	202
	要支援2	16	15	15	24	42	52	75	89	77	59	79	81	624

2. 性別・年齢別利用者数

(平成30年3月31日現在)

	～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計
男	0	0	1	0	0	2	1	0	1	0	5
女	0	0	0	2	0	4	7	3	1	0	17
計	0	0	1	2	0	6	8	3	2	0	22

最大年齢	98歳11ヶ月	最少年齢	65歳53ヶ月	男性平均	83歳7ヶ月	女性平均	85歳6ヶ月	平均年齢	85歳1ヶ月
------	---------	------	---------	------	--------	------	--------	------	--------

(4) 認知症対応型通所介護(つどい)

1. 月別利用状況

(平均利用者数 9.7人)

	登録者数	実利用人数	延利用者数	開設日数	サービス別利用者数		介護度別利用者数				
					入浴	給食	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	26	26	199	20	195	199	115	37	31	8	8
5月	27	27	212	23	210	212	135	41	19	8	9
6月	28	25	220	22	212	220	141	41	22	7	9
7月	27	24	211	21	199	211	145	41	17	8	0
8月	27	26	233	23	207	233	139	67	10	17	0
9月	26	25	218	21	201	218	113	78	12	15	0
10月	28	27	221	22	196	221	118	71	14	18	0
11月	27	26	222	22	195	222	127	66	12	17	0
12月	25	25	197	20	180	197	101	71	11	14	0
1月	25	24	184	20	165	184	89	77	6	12	0
2月	24	24	177	20	154	177	76	79	8	14	0
3月	24	24	197	22	161	197	83	91	7	16	0
合計		303	2,491	256	2,275	2,491	1,382	760	169	154	26

2. 性別・年齢別利用者数

(平成30年3月31日現在)

	～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計
男	0	0	0	0	0	2	1	1	1	0	5
女	0	0	0	0	2	5	3	4	3	0	17
計	0	0	0	0	2	7	4	5	4	0	22

最大年齢	97歳6ヶ月	最小年齢	78歳5ヶ月	男性平均	88歳	女性平均	87歳10ヶ月	平均年齢	87歳11ヶ月
------	--------	------	--------	------	-----	------	---------	------	---------

行事実施状況

月	日	行 事 名	内 容	参加人数			
				で あい	つ どい	で あ い 子 防	つ ど い 子 防
4	6. 7. 12. 17 18	買い物デー	近隣の大型スーパーへ出掛け、衣料を見たり普段なかなか外出が出来ない方々にも、思い思いの買い物を楽しんで頂けた。	30		19	
5	2～5. 8	お花見	円山～発寒河川公園～農試公園の経路・平岡梅園で、バス・ワゴン車にて花を見に行き、桜や梅を楽しみながら利用者間の交流を深めた。	72		25	
	4. 9. 11. 17				33	0	
6	16	札幌祭り神輿見学	車窓より札幌祭り神輿を見学し、祭りの雰囲気を楽しんでいた。		11		0
	13. 15	公園散歩	天神山緑地の藤棚や豊平公園等見学し、外気浴を楽しまれた。		21		0
	5～9			93		33	
7	18. 19. 27 28. 31	買い物デー	近隣の大型スーパーへ出掛け、衣料を見たり普段なかなか外出が出来ない方々にも、思い思いの買い物を楽しんで頂けた。	35		21	
	3. 4	バスハイク	札幌ファクトリー・大通公園に行き外気浴を楽しまれた。		18		0
9	25～29	バスハイク	札幌市民防災センターを見学し防災意識を高めた。	51		16	
10	11. 12. 23 24	紅葉見学	円山公園～大倉山の経路でバスにて紅葉見学を行った。司会者の説明を聞きながら車窓より見学され昨年続き、大変好評であった。	53		18	
	17. 25. 26 27				38	0	
11	16. 17. 21 22. 27	買い物デー	近隣の大型スーパーへ出掛け、衣料を見たり普段なかなか外出が出来ない方々にも、思い思いの買い物を楽しんで頂けた。	24		34	
12	19～22. 25	クリスマス会	クリスマスケーキやお茶菓子を召し上がりながら、忘年会を兼ねてクリスマスの楽しいひとときを過ごされていた。	87		30	
	19～22				37	0	
1	8～12	新春カルタ会	新年を祝い、昔の正月を懐かしみながら百人一首やカルタを楽しまれた。	88		28	
	8. 18				15	0	
2	5～9	雪祭り見学	大通・すすきの会場にて、雪・氷像見学を車窓より見学したが、特にすすきのの氷像が好評であった。	59		17	
	6～9				34	0	
	22. 23. 26 27. 28	おやつ作り	上新粉と白玉粉を使用した本格的ないちご大福作りを行った。生地のもっちり感が大好評で、季節感を味わいながら召し上がって頂けた。	83		26	
3	6～9		クラッカーにフルーツ・クリームをそれぞれのせ、思い思いのを作り楽しまれた。		34		0
	26. 29	買い物デー	近隣の大型スーパーへ出掛け、衣料を見たり普段なかなか外出が出来ない方々にも、思い思いの買い物を楽しんで頂けた。	15		6	

*毎月の誕生会は4週目に実施

<デイサービスであい 総括>

- ・季節により、外出行事の場所を変えたり、新たな公園や施設に行く事で聞いたことはあったが実際行ったのは初めてで良かったとの声が聞かれている。
- ・余暇プログラムの手芸等は意欲的に行われている方が多く、午後のレクリエーションも臥床されている方々以外、多くの方が参加されていた。

<デイサービスつどい 総括>

- ・要介護1・2の利用者の割合が全体の8割以上を占めており、身体機能的には自立されている方も多いが、認知症の進行にて危険に対する認識が低い方もおられ、歩行や立ち上がり不安定で介助を要する方も多くおられた。
- ・顔馴染みになっている利用者同士での交流は、笑い声もよく聞かれ、良い雰囲気であった。認知症がやや重度で周りの方よりも介助が必要な方に対して声を掛けられたり、気遣う利用者もおられ、良い交流が出来ていた。

